

指定管理者事業報告書（28年度分）

つくば市長 様

団体名 特定非営利活動法人 スマイル・ステーション
 指定管理者 団体所在地 つくば市松代5丁目9-10 松浦方
 代表者氏名 松浦 幹司

1 施設名称

つくば市市民活動センター

2 実施期間

平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月 31日

3 管理業務の実施状況

（仕様書・事業計画書に基づく施設運営、維持管理等業務の実施状況）

職員の配置・・・ 通常通りの配置

開館日数等・・・ 年間357日間 午前10時から午後10時まで

保守点検・・・ 活動センター内の機器点検は、通常通り朝と夜に2回点検実施。清掃については、朝夜の他、汚れがある場合は、その都度、清掃を行っている。
 また、センタービルの清掃や保守点検は、定期的を実施している。

定期清掃・・・ 年間2回、定期清掃を実施し、9月30日と3月31日休館とした。

※施設運営（職員配置、開館等日数等）や維持管理（保守点検、清掃等）等を記入してください。

4 自主事業の実施状況

（仕様書・事業計画書に基づく自主事業の実施状況）

（1）相談事業 161件（窓口・電話での簡単な相談 含まず）

（2）講座・交流会 39件（270名）

（3）イベント 2件（約8,700名）

（4）ホームページ・Facebook等のWeb作成、メンテナンス事業 1件

（5）デザイン・印刷事業 56件

（6）その他（講師派遣）2件

5 施設の利用状況

（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館数	740	704	2,557	648	3,750	625	701
小計	740	704	2,557	648	3,750	625	701
区分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入館数	607	1,171	555	640	599	13,297	
小計	607	1,171	555	640	599	13,297	

6 収支状況

○収入

(単位:円)

項目	実績(A)	計画(B)	差引(A-B)	備考
指定管理料	12,238,000	12,238,000	0	
コピー代	157,380	200,000	-42,620	
印刷機	262,400	350,000	-87,600	
PCプリント	1,990	10,000	-8,010	
指定事業	3,000	15,000	-12,000	
自主事業	232,700	400,000	-167,300	
物販	275,420	400,000	-124,580	
使用料	22,700	40,000	-17,300	
大型プリンター	229,930	400,000	-170,070	
その他	171,837	170,000	1,837	
合計	13,595,357	14,223,000	-627,643	

○支出

(単位:円)

項目	実績(A)	計画(B)	差引(A-B)	備考
給与	8,632,500	8,200,000	432,500	
法定福利費	262,556	300,000	-37,444	
職員用駐車料金	259,200	260,000	-800	
報償費	80,000	80,000	0	
研修参加費	32,160	50,000	-17,840	
旅費・交通費	35,612	50,000	-14,388	
消耗品	813,251	800,000	13,251	
備品	0	100,000	-100,000	
新聞購読料	35,880	36,000	-120	
図書費	0	10,000	-10,000	
印刷費	194,545	150,000	44,545	
電気料	101,254	120,000	-18,746	
空調費	681,152	650,000	31,152	
修繕料	4,489	30,000	-25,511	
パフォーマンスチャージ	75,425	100,000	-24,575	
電話代	93,180	100,000	-6,820	
郵便代	43,690	50,000	-6,310	
プロバイダー使用料	59,972	62,000	-2,028	
塵芥処理費	13,140	14,000	-860	
賠償保険料	146,810	137,000	9,810	
清掃委託量	64,800	65,000	-200	
施設設備管理委託	116,640	117,000	-360	
印刷機保守点検委託	172,800	175,000	-2,200	
謝礼	138,000	150,000	-12,000	
会議費	40,840	0	40,840	
会場借上げ料	0	50,000	-50,000	
製作・準備費など	0	50,000	-50,000	
駐車場使用料	373,230	500,000	-126,770	
その他賃借料	98,860	80,000	18,860	
会計ソフト使用料	10,800	11,000	-200	
PC賃借料	21,902	22,000	-98	
カラー複写機賃借料	31,104	32,000	-896	
印刷機賃借料	334,584	335,000	-416	
玄関マット・モップ賃借料	16,848	17,000	-152	
物販仕入	112,768	220,000	-107,232	
その他	524,640	1,100,000	-575,360	消費税及び振込手数料等
	13,622,632	14,223,000	-600,368	

収支差引額

-27,275

7 利用料金の減免状況

無し

8 利用者の苦情、要望状況（アンケートによるものは除く）

（利用者からの主な苦情、要望及びその対応状況）

- ① コバエの多い季節があり、利用者から苦情が多数あった。

センタービルの管理会社に駆除をお願いしたが、2、3日すると出てくるので、根絶することができないでいる。

- ② センター利用者の方から 職員が私的なことで深夜に電話してくる等の苦情が寄せられた。

双方から話を聞くと、内容も私的なことなので、職員に対しては常識的な対応をしてほしいと注意を促し、利用者に対しては、職員に対して注意した事を報告するとともに、私的なことに関してセンターは立ち入ることができない旨を話し、理解していただいた。

9 事故等発生状況

（事故、事件等が発生した場合の内容及びその対応状況）

- ① 12月19日から25日、センター広場で開催していたイベント『一本からのクリスマス』の中で、子どもたちが作ってくれた作品をテントの梁を使って展示していたが 12月23日（金・祭）未明の強風で作品を飾っていたテントが倒れた。テント1張破損したが 施設などの被害はなかった。

事故は深夜に起きたので、早朝、人が集まる前に撤去し、周辺の清掃を行うとともに、新しいテントに作品を再度飾った。

10 アンケート結果の状況

（常設及び随時のアンケート結果（満足度等）の状況）

197の回答がありました。

- ① 『施設管理』については、99.5%が満足 0.5%が不満（印刷室がもう少し広いといい、など）

- ② 『利用しやすさ』については、97.5%が満足 2.5%が不満（会議室が狭い、等）

- ③ 『職員』については、100.0%が満足（人によって対応が違う）

- ④ 改善点

・『会議スペース』 満足70.1% 不満29.9%（独立した会議室が欲しい。等）

・『印刷機・パソコンなどの機器』 満足94.9% 不満5.1%（Wifiがほしい、等）

11 サービス向上等の改善点

（実施した場合）

- ① アンケート回収箱を設置。

12 サービス向上等の改善提案

（提案等有る場合）

特になし

13 上記以外に報告すべき事項

(項目3から12以外に実施した事項(職員研修、各種取扱基準作成、環境配慮等の内容))

①職員研修

- ・『全国ボランティアフォーラム2016』に参加
- ・センターの接客・仕事等について
- ・個人情報について 他

②各種取扱基準作成

- ・『個人情報お取り扱いマニュアル』『情報開示請求の対応方針』の修正を行った。

③環境配慮

- ・特になし

14 労働環境に関する報告事項

(施設職員の有給休暇取得率、時間外勤務時間等の労働環境等)

①有給休暇取得率 5%

②時間外勤務時間 労働基準監督局に提出している時間内で行った。

※個人ごと及び全体を報告してください。

15 年間を通した総括・自己評価

指定管理4年目でもあり、運営はよくできたと思います。

28年度は、職員がセンターから出での市民活動団体と接する事が多い年でした。つくば市は面積も広く、多層的な住民が住むまちでもあります。それだけに多種多様な市民活動が展開されており、その情報が集まりにくい面もあります。積極的に情報の収集を行い、市民活動状況を市民の皆様が得やすい環境作りを進めました。

特に、広報の『イベントカレンダー』や『ぴよ』については、回を重ねるごとに反響は多く、掲載希望の問合せや、各イベントの周知をイベントカレンダーで知り、「参加者が多くなった」と主催者から報告をいただいています。

刷事業を実施したことで、チラシや会報などの作成作業から解放されたと喜びの声を頂いています。

これからも市民活動団体が、もっと活動しやすい運営を心がけていきます。

(留意事項)

※ 利用状況や収支状況等の詳細は、担当課の指示等に応じて添付してください。

基本協定書第 23 条に基づく

平成 28 年度つくば市市民活動センター業務報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

- 1 本業務の実施状況に関する事項
- 2 管理施設の利用状況に関する事項
- 3 料金収入の実績、管理経理費等の収支状況に関する事項
- 4 自主事業の実施状況に関する事項
- 5 その他甲が指示する事項
- 6 運営管理上改善すべき事項
- 7 その他

平成 29 年 4 月 27 日提出

特定非営利活動法人スマイル・ステーション

添付資料の明細

資料1 平成 28 年度 市民活動センター諮問委員会記録

資料2 平成 28 年度 利用者懇談会記録

資料3 平成 28 年度 窓口アンケートまとめ

資料4 管理施設利用状況に関する集計表

資料5 市民活動団体の登録集計表

資料6 実施事業一覧

資料7 平成 28 年度収支決算書

資料8 市民活動フェスタ報告

資料9 駐車サービス発行状況

資料10 労働環境確認シート

資料11 その他

筑波大学と協働して実施したアンケート調査

はじめに

つくば市市民活動課の指導のもと、無事に28年度を終了する事ができました。

指定管理者制度のメリットを活かすべく、『効率性、柔軟性、迅速性、専門性など』を十分に発揮することは勿論、『利用しやすさ、快適さ、親しみやすさ、平等、公平』を重点に、運営に心がけてきました。

指定管理者として、業務や運営体制等を整え市民活動センター本来の業務を行うことはもとより、広報紙『ぴよ』や『イベントカレンダー』の内容の見直し、『団体情報のデータベース』更新のためのヒアリングを全登録団体に実施し、それを基に団体検索データベースや団体登録冊子を使い易くわかりやすい内容にリニューアルしました。

また、平成27年度から行っている行政・企業・団体との連携で『つくば災害支援連絡会』を今年も継続して実施しました。

諮問委員会や利用者懇談会からの外部評価に加えて、団体登録時、講座終了及び常時窓口で施設利用についての口頭やアンケート調査を行ったほか、筑波大学・市民活動センター・NPO スマイル・ステーションが協働して、つくば市の市民活動の現状と市民活動センターの役割についてアンケート調査を実施し、センター運営や施設利用に関する貴重な意見を頂戴しましたので、実施できるものから改善を行いました。

以下、基本協定書第23条に記された事項順位報告いたします。

1 本業務の実施状況に関する事項

(1) 運営管理業務の充実に関して

運営4年目でもあることから、業務の内容を確認しながら見直し、運営体制を整え充実を図ることに努めてきました。

つくば市市民活動課とは1カ月に1回程度の『運営委員会』を予定していましたが、担当課との日程が合わず28年度は2か月に1回程度実施しました。また、担当課から『連絡調整会議』に名称を変更するよう指摘を受け、平成29年3月からは連絡調整会議と名前を変え実施しています。

センター内では、運営等を話し合う週1回の『企画会議』、毎月スタッフ全員で行う『スタッフ会議』、広報紙作成の『ぴよ編集会議』(月4回程度)、『ラジオ企画会議』(週1回)等を実施しました。

運営を円滑に行うとともに、スタッフ間の情報共有化するために、業務の各担当者を決め、ストレスのない運営ができるよう体制を整え実施しました。

(2) 第三者からの評価に関して

① 諮問委員会

- ・ センター運営に関して諮問委員会(資料1)を1回開催しました。
- ・ 委員の方々には、テーマを決めず自由に話していただきセンターについて色々貴重なご意見を頂戴しましたので、実施できる事から取り組んできました。
- ・ 委員会の日程については、委員からの希望にて決定しましたが、今年も10人中4人の欠席がありました。

② 利用者懇談会

- ・ 施設利用等について自由に意見を述べてもらう利用者懇談会(資料2)を2回開催しました。
- ・ 28年度も、センターの事だけではなく、出席していただいた団体間の交流も視野に入れ、昼食をとりながらの利用者懇談会を開催したことで、今まで出席したことのない団体が出席し、多くの貴重なご意見を頂戴しました。

③ 窓口アンケート

- ・ 常時窓口にてセンター運営管理業務に関するアンケート調査(資料3)を実施しております。
- ・ アンケート内容については、25年市民活動課と協議の上、つくば市から提示のあったアンケート内容にセンター独自の部分を追加したセンター独自アンケート用紙を28年度も使用しました。
- ・ 利用者の声を偏りなく回収すべく、アンケートのご協力に尽力しましたが、活動センターの利用者はリピーターがほとんどで、一度提出してくれた方からの再度提出の願いは難しく、アンケートの総数は少ないですが、利用者との日常の会話や実施したヒアリングの中から、アンケートでは得られない貴重なご意見や改良案などをいただき、改善できるものから改善し、利用者側に立った運営に努めました。スタッフの対応の評価も含めてすべて、貴重な外部評価としてサービスの向上に努めました。
- ・ アンケートや口頭で、アンケート専用回収箱設置や、事務用品の複数設置の希望がありましたので、即対応しました。

④ 筑波大学と協働してアンケート調査

筑波大学・市民活動センター・NPO スマイル・ステーションが協働してつくば市の市民活動の現状と市民活動センターの役割についてアンケート調査（資料 11）を実施しました。つくば市に籍を置く、NPO 法人・ボランティア団体、216 団体中110団体から回答を頂きました。

市民活動の現状、協働に対しての取組、事業化に向けた考え方、市民活動センターに関しての要望など今後の市民活動センターの運営に役立つ情報を得ました。

(3) 職員の採用について

28年度は、2名の職員の退職に伴い、新規採用を公募し、面接、書類選考を経て2名採用しました。新人職員は担当指導者の研修を受けた後、ベテラン職員と組んで勤務しています。

他の施設よりも職員が多いことは確かですが、それぞれ得意分野を持っている職員を多く集めたことで、色々な分野の市民活動相談にも対応できるようになりました。

(4) 職員研修等について

通常の研修は、スタッフ会議の中で実施していますが、28年度は『全国ボランティアフォーラム 2016』に6名の職員が参加し、市民活動センター運営に役立っています。

(5) 管理施設の使用許可に関して

施設利用に関して、新規利用者については使用申込みの時に使用目的などお聞きしていますが、団体登録をされている団体や再度施設利用団体については、用紙記入の際に簡単な聞き取りを実施しています。また、センターの使用が指針から外れている団体（営利、政治、宗教活動に関する使用。つくば市以外の団体でつくば市以外の活動、ただし、つくば市外の団体でもつくば市内での活動については可）についてはセンターの目的を説明し、使用できない旨のご理解をお願いし、他の施設で対応できるものは、そちらを紹介しています。

(6) 市民活動に関する情報の収集と提供について

センターに登録している市民活動団体（資料5）からは、情報や活動内容の確認を行い、未登録団体については声掛けを行い、団体登録をお願いしました。団体の解散等による取消を含め、28年度は145団体（個人も含む）が登録しています。

しかし、市民による社会貢献活動団体以外の自治会、子ども会などを含めると300団体以上がセンターを利用しました。これらの団体のイベントなどの情報もセンターに提供して頂きました。

情報発信の一つであるセンター発行の広報紙『ぴよ』『イベントカレンダー』の紙面を多少変更し、団体の活動内容やつくば市内でのイベント、案内、募集等の記事を数多く掲載することに努め、実施事業の一層の普及を目指して広報活動の多様化と強化を図ってきました。

① 紙面媒体を活用した広報活動

- ・ つくば市の協力を得て、市報『広報つくば』及び『つくば市イベントカレンダー』の毎号にセンターの企画予定を掲載しました。
- ・ センター発行の広報紙『ぴよ』では、市民団体の活動レポートや紹介等を掲載するなど、読み物としての広報紙を目指して年4回(毎回 約2,000部)発行しました。
- ・ センター発行の『イベントカレンダー』は、センターに集まってくる情報の他、独自のルートで収集した市内で開催される講座・イベント等の情報を掲載するとともに、ボランティア募集等も掲載し年12回(毎回 約2,000部)発行しました。
- ・ 回を重ねるごとに反響は多く、掲載希望の問合せや、各イベントの周知をイベントカレンダーで知り、「参加者が多くなった」と主催者から報告をいただいています。
- ・ 『常陽リビング』『茨城新聞』『常陽新聞』『常陽ウィークリー』『ラジオつくば』等の広報媒体にセンターの情報だけではなく市民活動団体の情報発信も行っています。(常陽新聞が3月で廃刊となり広報媒体が1つ減少)
- ・ 平成28年度は、全登録団体にヒアリングを行い、冊子『登録団体一覧』を作成しました。

② IT活用の情報発信

- ・ センターのホームページについては、最新の情報を掲載することに努めました。
- ・ 月1回、登録団体宛にメルマガを発行しています。
- ・ センターのFacebookでは、ニュース等をリアルタイムに発信しています。
- ・ センター内のパソコンで、登録団体の情報が簡単に得られるようなデータベースを26年度に作成したので、28年度は新規登録団体の追加や修正などの団体情報の更新を行いました。

③ ラジオ番組の実施

- ・ 『ラジオつくば』のFM放送番組枠で、毎週金曜日の午後19時30分より15分間の番組「市民活動センターからこんにちは」の放送を行いました。

- ・ ラジオ番組の収録・編集もセンター内で行っています。

④ チラシの配布

- ・ センタービル 1 階廊下に設置しているチラシバーの横に、ポスターをとることができるパネルも設置しました。設置したことで、市民団体や行政から大判ポスターが貼れると喜ばれています。
- ・ センター発行の広報紙『びよ』及び『イベントカレンダー』を市内各所に配置しておりますが 29 年度も配置場所の拡大を図っています。

(7) 協働事業の相談・推進について

- ① 市民活動団体と行政との協働事業の一つ『アイラブつくばまちづくり助成金の交付事業』の相談会を実施するとともに、申請相談の業務を行う担当スタッフ 1 名を決め、専門的に市民団体からの相談・推進に対応し、ワンストップサービスができるよう努めました。
- ② 市民活動課と協働についての勉強会を今年度から実施し、市民活動センターとして何ができるかなど話し合う機会を設けました。
- ③ 『社会をよくする市民ビジネス研究会』を月 1 回開催しました。様々な社会的な課題を市場としてとらえ、その解決を目的とする事業が市民活動の中から地域ビジネスとして新たに生まれようとしています。センターはこれからも、支援・協力をしていきます。
- ④ 平成 27 年 9 月に常総市で起きた水害により、つくば市に避難してきた方々を支援するため、NPO 団体等と協働で『たすけあいセンターJuntos(ジュントス)つくばサテライト』を設置したので、平成 28 年度も交流会等を実施しました。
- ⑤ 災害が起きた時の情報交換等に、行政・大学・企業等と連携し『つくば災害支援連絡会』を平成 28 年度も継続しました。

(8) 管理施設の維持管理に関して

来館者が気持ち良く、支障なく、効率よく利用していただくと共に、一層の活用の普及を図るため下記の事項を実施しています。

- ① 印刷機をはじめとする機器の補修と維持管理
- ② ホームページの維持管理
- ③ 市民団体向けのパソコンコーナーの維持管理
- ④ 年 2 回の業者による床面清掃
- ⑤ 館内の清掃はもとより、センター周辺の清掃の実施
- ⑥ センター地区活性化協議会主催の防火訓練、花植え、清掃活動などに参加

2 管理施設の利用状況に関する事項

設備別の利用状況を別紙(資料4)に示します。

つくば市から示された『市民活動センター運営指針』にのっとり、センター利用を社会貢献団体(個人も含む)や自治会、子ども育成活動等に制約し、センターの使用指針から外れている団体(営利、政治、宗教活動、生涯学習サークル、つくば市以外の団体でつくば市以外の活動。ただし、つくば市外の団体でもつくば市内での活動については可)については28年度もご遠慮いただきましたが、27年度同等の来館者数となりました。

(1) 印刷について

27年度と比べると市民団体利用件数が12%減少となりました。1製版からの印刷枚数も27年度は188枚でしたが28年度は154枚と18%減少しています。センターでの印刷の半数が書類や会報が主流になってきており、チラシ印刷が年々減少傾向にあります。

センターの印刷物が27年度と比べると14%増になりました。これは、イベントなどのチラシ作成や市民団体へのお知らせ印刷が多かったからです。

(2) コピー機について

近くにコンビニエンスストアができて、コピー代がセンターの半額であることで、利用者が今年も21%減少しました。しかし、センターのコピーの方が色がきれいとの評判から、多くの方に利用していただいています。

今年もセンターの使用分は、極力制限し経費節約に努めたので63%減少しました。

(3) パソコンプリントについて

コストが高い割に画質が悪いパソコンプリント印刷を、料金が同額であるコピー機に変えたことで、4%減となりました。

(4) 大型プリンターについて

ポスターや横断幕の作成に活用しています。

今年はポスター印刷が少なく、30%減となりました。

(5) 情報掲示板、チラシバーについて

センタービル1階廊下にチラシバー10台、ポスターを張ることができるパネルを1台設置し、市民団体や行政のチラシ配布を行っています。

(6) 団体Boxについて

団体内の伝達やチラシの保管等、各々の団体ごとに使用方法が違っていますが、便利に使っていただいています。

(7) 相談業務について

相談を受け付ける中で培われた経験やネットワークが大いに役に立っています。

無料・有料相談を合わせて 171 件受けました。窓口や電話で対応できる簡単な相談を数に入れていないため、27 年度に比べて 6% 減少しました。

28 年度は、つくば市以外の団体からの相談も多くありました。

(8) 会議スペースの利用について

利用件数は、27 年度と比べると 14% 減少、利用人数は 14% 減少しました。

館内の作業音や会話がすべて筒抜けの環境の中では集中できず会議に適さないとの理由で、交流センターやボランティアセンター、Bivi 内にできたインフォメーションセンターを利用する団体が増えたことが原因と思われます。

(9) センター来館者について

27 年度と比べると 1% 増加し、年間 13,297 人でした。

3 料金収入の実績、管理経費等の収支状況に関する事項

料金収入の実績、管理経費等の収支状況は別紙(資料7)に示します。

料金収入については、その他のサービス以外すべて予算額に達しませんでした。

つくば市内の市民活動団体の活動が、28 年度は少なかったことで、施設利用料金の収入が少なかったと予想されます。また、パソコン講座以外の講座や相談については、ほとんど無料で行ったことで収入につながりませんでした。

通常勤務時間内では対応できない相談や各種会議、研修、広報紙『ぴよ』等の取材、イベント等の運営、冊子作成のためのヒアリングなどにかかる人件費により、給与が 432,500 円予算を超過しました。

収入予算額が 14,223,000 円に対して実績は 13,595,357 円でした。管理経費は 13,622,632 円だったので、27,275 円の赤字になり、25 年度超過分から赤字分を補てんしました。

(1) 支出においてほぼ予算内で推移した費目

- ① 法定福利費
- ② 職員用駐車料金
- ③ 指導料
- ④ 研修参加費
- ⑤ 旅費・交通費
- ⑥ 備品
- ⑦ 新聞購読料

- ⑧ 図書
- ⑨ 電気料
- ⑩ 修繕費
- ⑪ パフォーマンスチャージ
- ⑫ 電話料
- ⑬ 郵便料
- ⑭ プロバイダー使用料
- ⑮ 塵芥処理費
- ⑯ 清掃委託
- ⑰ 施設設備管理委託
- ⑱ 印刷機保守点検委託
- ⑲ 謝礼
- ⑳ 会場借上げ料
- ㉑ 駐車場使用料
- ㉒ 会計ソフト使用料
- ㉓ PC 賃借料
- ㉔ カラー複写機賃借料
- ㉕ 玄関マット・モップ賃借料
- ㉖ 物販仕入
- ㉗ その他

(2) 予算を超えた費目

- ① 給与
- ② 消耗品
- ③ 印刷費
- ④ 空調費
- ⑤ 賠償保険料
- ⑥ 会議費
- ⑦ その他賃借料

(3) 職員の努力で費用削減した費目

- ① 電気料
- ② 電話料
- ③ パフォーマンスチャージ

(4) 収入未達成の費目

- ① コピー機
- ② 印刷機
- ③ PCプリント

- ④ 指定事業
- ⑤ 販売等手数料・他
- ⑥ 大型プリンター

(5) 実施しなかった費目

- ① 備品
- ② 図書費(寄贈を受けた書籍等で充当)
- ③ 会場借上げ料
- ④ 製作・準備費など

4. 指定事業と自主事業の実施状況に関する事項

(1) 指定事業

① 市民活動入門講座

市民活動入門講座 2 回実施しました。

② 市民活動専門講座

国際ボランティア講座を 1 回開催しました。

③ 市民活動団体のデータベース化事業

市民協働推進計画の取組の一つとして、活動へのきっかけづくりや団体間の情報交換に広く活用してもらうことを目的に、市民活動団体情報を集約したデータベースを作成しています。

今年度も、新規登録団体や団体内容変更などを修正しました。また、全登録団体にヒアリングを実施し、情報を一新しました。

④ 広報事業

『広報誌 ぴよ』『イベントカレンダー』『センターニュース』の発行、ホームページの充実、ラヂオつくば『市民活動センターからこんにちは』からも情報発信を行いました。

- ・『広報誌 ぴよ』 年4回
- ・イベントカレンダー 年12回
- ・ホームページの公開 随時更新
- ・メールマガジン 年 15 回 (定期発行 12 回、臨時 2 回)
- ・ラヂオつくば『市民活動センターからこんにちは』 年 50 回
- ・Facebook 随時更新

(2) 自主事業

① 市民活動相談

NPO、市民活動・運営、アイラブつくば助成金、助成金(アイラブつくば助成金以外)、パソコン(個人指導含む)、市民ビジネス、その他、市民活動に係る色々な相談等を実施しました。専門相談については専任スタッフが対応し、資料請求や簡単な相談(時間が短いなど)、電話での相談などは、窓口スタッフが随時対応しました。

軽微な相談対応については、記録をとっていませんので相談件数に反映していません。

② パソコン講座

市民活動に役立つワードやエクセル、チラシの作り方など初級者対象の講座を中心に実施しました。講座内容については、市民団体からのリクエストを取り入れて行いました。

③ ホームページ・Facebook などの Web 作成、メンテナンス事業

28 年度は新規の作成はありませんでしたが、過去に作成したホームページの変更や追加等の希望がありましたので、それらに対応するとともにメンテナンスを行いました。

④ デザイン・印刷事業

センタースタッフの専門職を活かし、市民団体だけではできないことを支援する事業として、デザイン・印刷事業を行い、56 件ありました。

団体の要望等を聞き、団体の活動費等を配慮しながら話し合いで、できるだけ低料金で、ポスター、チラシ、冊子を作成しました。また、「センタースタッフに印刷してほしい」との希望も多く、28 年度も実施しました。

⑤ 市民活動フェスタ等のイベント

市民団体の紹介や実演、販売を通して、多くの市民に市民活動に興味を持ってもらうため多くのイベントを実施しました。イベントに参加してくれた団体間で種別を超え新たな交流が生まれています。

ア. 市民活動フェスタ&こむせん市

市民活動団体が自分たちの活動を広く市民に伝え、また、団体間の交流をつくり、『市民みんなでつくる より良いまちづくりの促進』を目的に、また、センター地区活性化と市民や市民団体との交流の場として、平成 28 年 6 月 19 日(日)につくばクレオ前広場にて開催し、18 団体の出店、約 2,000 名の来場者がありました。

イ. 1 本からのクリスマス

つくばセンター広場を使い12月19日から25日までの間、センター地区を活性化するために、センター広場の中心に3.5mのクリスマスツリーを建て、その周りに市民や市民団体のクリスマスツリーや子どもたちの作品約300点、市民が作成したペットボトルオブジェ等を配置し、青年会議所から借用したLEDイルミネーションで飾り付けを行いました。

12月23日にはクリスマスイベントを開催し、市民活動団体や幼稚園生によるクリスマスステージを実施し、700名の来場者がありました。また、活動発表を行うとともに、来場して下さった先着500名にプレゼントを配布しました。

尚、このイベントの開催に当たっては、この主旨に賛同された様々な団体から協賛金及びプレゼントの品などをいただきました。

イベント期間中の来場者数はおよそ5,000人でした。

⑦ ワンランクアップの講演会・講座・映画界上映会

今年度は『法律講座』を開催し、市民活動団体の中で実際に起きた問題を取り上げ、リスクについて講師(弁護士)から解りやすく説明をしてもらいました。

⑧ その他

ア. 社会をよくする市民ビジネス研究会の開催

まちをよくするための様々な活動のなかで、創り出されたサービスが社会に認められ、対価が得られ、ビジネス化することを目的とする「市民ビジネス研究会」を市民活動センター事業の一環として、毎月1回開催しています。

今までの経過では参加者は多くありません。社会活動をお金に変えたいと考える団体はまだ少ないようです。しかし、参加者からは、「このような話し合いの場が今までなかった」と好評を得ています。

市民活動を継続的に行うためには経済的な自立も大切なことなので、今後も実施していきます。

イ. つくば災害支援連絡会

災害の発生時において、一番必要されるのが情報ですが、様々な情報が混乱するのが現状です。常日頃から各方面の方々と連携し、『顔の見える関係』づくりを継続的に進めていくことで、いざというときの手厚い支援・救済に繋げることができるのではないか、効果的な活動が出来る体制を作る事が必要ではないか、そのためには、行政関係者のみならず、地域住民や企業、NPO等など幅広い関係者を巻き込

み、多様な階層が重層的な連携体制を構築することが必要と考え、28年度も3回開催しました。

ウ. 冊子『登録団体一覧』作成

これから市民活動を始める方に、また、市民活動の団体には連携・協働する団体を探すなどに役立ててもらうため、冊子『登録団体一覧』を作成しました。

5 その他甲が支持する事項

平成27年度はこの事項に該当する業務はありませんでした。

6 運営管理上改善すべき事項

市民活動センターを運営して、以下のような事象に対して検討すべきと考えます。

(1) 会議スペースについて

100 m²のワンフロアの中で、受付、印刷スペース、パソコンコーナー、会議スペース、談話コーナー等に使用しているため、会議で使用されている方々から、他の利用音に干渉され会議に適さないとの意見が今年度も多数ありました。

センターは、どうしても会議スペースの利用希望日が重なるため団体からの要望で、同時に2団体受け入れる場合もあります。また、2台の印刷機が同時に作動している時や他の団体が作業をしている時は、隣の話し声が聞き取りにくくなるのご意見もあります。 29.9

アンケート(資料3)においても、18.8%の方から不満足との意見をいただいております。

できれば独立した会議室があれば、そのようなことがなくなるので、ご検討をお願いします。

(2) 駐車場について

駐車場利用者の数が年々減少しています。(資料9)これらは需要が少なくなったのではなく、利用者側の配慮や市外の団体がセンターを使用しなくなったことが要因の一つと考えています。

また、安価な印刷を利用しているのに、駐車サービスの発券はおかしいとの意見もあります。これについては、今後も検討していきたいと思っています。

(3) 施設について

センタービル主催の火災訓練等には率先して参加するとともに、センター内に不要なものを置かないように努めています。子供連れの母親が市民活動に参加するようになってきました。しかし、センター自体が狭いため、車椅子や乳母車での来館者には、ご迷惑をおかけすることもあります。安心安全から考えると、もう少し広い場所が必要と思います。ご検討ください。

7 その他 市民活動課へのお願い

つくば市全体では人口の伸びが見られるが、周辺地域では人口減・少子高齢化・長寿化が進み、安全・安心に向けたまちづくりの重要性が問われています。この度市民部に地区相談課が設けられ、6か所に相談センターが開設されました。

市民で出来ることは市民が主体的に係る時代になろうとしています。社会貢献活動を担っている多くの市民活動団体の出番が必要になろうかと思います。

このような中で市民活動センターの在り方も再考すべき時期に来ていると思われます。市民活動センターのあるべき姿を市民の皆さんと議論する場を設けていただくようお願いいたします。

資料1 市民活動センター諮問委員会記録

平成 28 年度 つくば市市民活動センター諮問委員会議事録

実施日時：平成 28 年 12 月 8 日(木)18:30～20:30

会 場：つくば市市民活動センター 会議スペース

出席者：

諮問委員7名(50音順・敬称略)

金久保紀子(筑波学院大学 国際交流学科)

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]

柳瀬敬(NPO法人自然生クラブ理事)

※以下3名の委員は欠席

上田孝典(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

[REDACTED](つくば市区会連合会会長)

[REDACTED](筑波都市整備㈱ [REDACTED])

指定管理者 松浦幹司、藤原哲 [REDACTED]

市民活動センター [REDACTED]、[REDACTED]

1. 出席者の自己紹介

2. 市民活動センターの利用状況の説明

資料は事前に郵送

1. 諮問委員名簿
2. 平成 27 年度業務報告書一式(①～⑩)
3. 平成 28 年度財政援助団体監査結果報告
4. つくば市における市民活動の現状と市民活動センターの役割に関する調査アンケート結果
5. 平成 28 年度上半期事業一覧
6. 市民活動センターの役割を充実するために
7. つくば市市民活動センター運営指針(つくば市)

3. 市民活動センターへの提案

(1)「来館者」を越えた視野での利用者掘り起しを

資料として利用状況の報告が出たが、現施設の規模を考慮に入れると、大々的な利用者の増加を見込むことは難しいと考える。

行政側として、どれだけの人が施設を訪れて利用したかという『来館者』数を利用指標にせざる得ない部分はあると思うが、「市民活動フェスティバル」等の館外での活動や、「イベントカレンダー」等の利用者・団体は、施設入場はしていないが、『潜在的な利用者』として確かに存在している。

このような来館者以外の受益者の存在を考慮に入れると、報告で挙げている人数の倍は、実施に利用者がいると考えられるのではないかな。

これまでの3年間でアウトリーチも拡大してきており、質的な充実も果たしていると思われるが、具体的な事例を「見える化」して成果として提示していかなければ、評価は数的なものに頼らざるをえなくなってしまう。そのため指定管理者の頑張りが市民や行政に伝わらない部分も大きい。そこを今後の課題として提案したい。

<返答>

今後の課題として、どういう形であらわしていくか考えていくとともに、担当課とも相談していきたい。

(2) 支援対象 個々の課題抽出と分析・研究を進める

筑波大学上田研と合同で実施したアンケートから、多くの市民活動団体が抱える課題として、「人材」と「資金」があがっていた。しかし、いざ利用者懇談会の場では、これに関する意見が団体から出てこない。

各市民活動団体としても運営の専門知識があるわけではないので、各自の課題について踏み込んだ抽出が出来ていないのが現状ではないだろうか。

そのためにも「聞き手」として市民活動センター側が、課題を掘り起こしていくことが大切。

<返答>

平成 29 年 1 月から団体紹介冊子の作成のため、全登録団体を対象にヒアリングを実施した。話の中で、各団体が持っている問題点や悩みがいろいろ出てきた。センターの持っている専門知識を活用し、アドバイスを行ったことで、「活動の悩みが解消し、元気になった」との声が2月に実施した利用者懇談会からも聞かれている。これを数値に表して上手く活用することができれば、市民活動センターにとっての最大の成果ではないかと考える。

前述の評価とつながる部分だが、団体・個人に宣伝をしてもっと押し出してい

くべき。

(3) 活動テーマ毎のまとまりづくり

広報紙「ぴよ」では、テーマ毎に団体の事例を総括的に取り上げ、毎回様々な気付きを提供してもらっている。「災害支援連絡会」が立ち上がったというが、このような連携的な仕掛けを、活動センターが呼びかけていくということは良いと考える。

例えば「市民会議」という形で継続して意見を集めることで、協働にのせられる前段階のテーブルが整っていくのでは。

<返答>

平成 28 年度の中では実施できなかったが、平成 29 年度では、市民レベルの「災害支援会議」や、分野に分けた市民活動の交流や会議を計画している。

(4) 施設規模の限界を考慮した市民活動の活性化を

市民活動センターの利用規約があることで、明確化された部分も大きいとは思いますが、制約ができたことで、立ち回りが難しい場合もあるのではないかと。例えば、政治団体や宗教団体・事業所が社会貢献活動を行いたい場合などもあるはずで、その場合、事細かな規約により締め出されてしまわないかが心配である。（※政治団体や宗教団体については、担当課と協議が必要）

通常の貸し会議室では壁で隔てられており、会議内容については申請時点での確認にとどまらざるをえないはずで、ここが管理上踏み込める限界であると思う。開放的な造りのため、赤裸々に『見える』『聞こえる』という現状ではあるが、申請者側の良識に責任を任せる部分を大きく持たせてもよいのではないだろうか。

会議スペースは、現状では会議室としての要件を備えておらず、ミーティングスペースとして補助的な役割を提示しているにすぎないと思う。利用者もこのあたりは割り切って使用しており、当スペースが現状から規模が改善されない場合は、利用の増加は見込めないのではないかと。

市民活動センターの施設的なスペックにも限界はあるため、現状に即した「市民活動の活性化」を市とも共有すべきではないだろうか。会議スペースにおいても周辺施設と連携をとって、他の会議に適した施設を紹介した方が効率的ではないかと。（※周辺施設とは連携し紹介を行っている。）

<返答>

センター利用については、活動センターの利用指針が出ている以上いろいろな制約があるのは事実である。しかし、今までも利用者の良識や申請内容を信頼し使ってもらっている。ただ、あまりにも申請内容と食い違う場合（利用できない使い方等）は、会議終了後、会議の責任者と話をし、次回は他の施設を使ってもらおうようお願いをしている。

名ばかりの会議室であっても、利用者の方もその部分を納得したうえで利用しているのは事実です。つくば市に、「小さくてもよいので個室が欲しい」とお願いしており、つくば市もそれについては理解してくれているが 良い返事がまだない。市民団体には、講座等で『交流センター』を無料で利用出来る事を伝え、活動センターと交流センターの使い分けをお願いしてる事が 活動センターの会議室の利用者が少しずつ減ってきているのが現状です。

(5)その他の提案事項

① 「アイラブつくば」という補助金制度がつくば市にはあるが、補助対象経費に係る事業提案を出さない限りは、活動面への補助・連携を受けられないという弱みがある。一方で、市内にはコツコツと頑張っている活動がたくさんあることも事実で、例えば市民活動の表彰制度が、つくば市に新たに出来ても良いのではないだろうか。

<返答>

担当課へ提案していきたい。

② 団体登録のメリットについて、指定管理者側では弱気を感じている部分があると思うが、市民活動センターがメルマガや発行物で発信している情報は有益であり、この提供される「情報」そのものがメリットであると、自信を持って良いと考える。

<返答>

団体登録しなくとも印刷や会議スペースの利用や、イベントカレンダーへの掲載が出来るために、確かに登録のお願いについては弱気になっていると思う。冊子掲載等以外でも、「登録してよかった」と言われるものを考えていきたい。

③ 全国的に見ても「コミュニティビジネス」の成功事例をあまり耳にしないため、あまりうまくいっていないのではないだろうか、市民活動のコミュニティビジネス化の場合は、かなりしっかりした応援体制が必要なのだろう。

<返答>

市民活動からコミュニティビジネスを繋げていくのは難しいとは思いますが、応援体制を整えるなどして、今後もコミュニティビジネスの相談などを実施していき、成功事例を作って公表していきたい。

資料 2 利用者懇談会記録

平成 28 年第 1 回利用者懇談会 実施記録

日時:平成 28 年 10 月 25 日(火)11:30～14:00

懇談参加者:17 団体 17 名

[REDACTED]

参加スタッフ(計 11 名)

[REDACTED] 松浦、[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]

議事記録

(1) 懇親会の部

昼食を取りながら、団体間での交流

(2) 懇談の部

質疑応答

- ① 団体の活動紹介が行えるイベントの開催数を増やしてほしい。28 年度「市民活動フェスタ」は団体も増え出展内容も充実してきた。ただし、本年は「こむせん

市」も当企画と合体したため、市民に活動を紹介する場がこの 1 回限りであったことが残念である。年 1 回では少ないように感じるため、年 2 回等に増やすことはできないか。

企画全てを市民活動センターで負担することが多数開催をすることへの障害であるならば、出展者を巻き込んだ実行委員会形式にしていくことで、解消はできないだろうか。(参加したことのある団体からの意見)

< 返答 >

2 回に分けると参加者が少ないのと、つくば市ではイベントが多く日程調整が難しい。イベント終了後出展者のアンケートには「賑わいがあった良かった。」「今後もこの形式が良い」等の意見が多かった。また、会場が市民活動センターから離れたことで、センター運営に支障をきたす可能性がある事も説明した。29 年度もこの形式をとることを了承してもらった。

参加団体を巻き込んだ実行委員会形式を今までもとってはいるが、市民団体の方々はイベント当日、自分たちのブース運営で手が一杯で、なかなか実行できていない。今後も実行委員の募集を行っていくので、是非入って欲しい。

② 駐車無料サービスが、市民活動センターで(半額)負担をしていることを知り、運営の負担とはなっていないのだろうか。

< 返答 >

指定管理料には、駐車場利用料金も含まれているので負担にはなっていない。また、会議及び印刷のみで対応している事や利用者の配慮による自主的な代替駐車場の利用により、予算枠内で推移している。多くの方々の配慮に感謝している。

③ (センターからの質問)

会議スペースをはじめ施設拡張のためには場所の移転も視野に入れる必要があるが、その場合、駐車スペースも見込める郊外とアクセスの良いセンター地区では、利用者はどちらを希望するのだろうか。

< 参加者の意見 >

・障害福祉、シニアの活動団体からは、公共交通機関からのアクセスが良く、地理的な偏りの無い、つくばセンター地区が適している。

・車の利用者からは、駐車場から施設までに距離があり、印刷用紙等の持ち込みに不便を感じる。地下駐車場は使えないのか。移転するとしたら、センターから遠くても駐車場が近い方が良い。

・車で来る人はセンターから遠くてもよいが、バスで来る人には、センター地区が良い。今の場所が良い。

④ (センターからの質問)

筑波大学上田研と合同でとったアンケートでは、半分以上の団体が人材資源に課題を感じているとの答えがあった。参加者で感じている困りごとがあれば、この場でお話いただいても。

＜参加者からの回答＞

特になし。

⑤ 要望

(a) イベントカレンダーに関して、携帯・タブレットも普及して来たので、記事にQRコードを併載できないだろうか。

＜返答＞

現在の紙面では難しい。イベントカレンダーは、あくまでも情報の入り口と考えてほしい。

(b) 会議スペースで会議をする際、有線をつないでもらっているが、多数持ち込み会議をする場合は大変である。Wi-Fiを導入して使えるようにしてほしい。

＜返答＞

使えると便利なのとは理解している。しかし、セキュリティーの事も考えると、センター運営のパソコン(個人情報も入っている)と同じWi-Fiで繋ぐ事は難しい。だからと言って、指定管理料の中には、プロバイダー1件分しか予算に入っていないので、もう1件増やす余力はセンターにはない。近くにBiviなど無料Wi-Fiが使える施設があるので、そちらを利用してほしい。

次回の指定管理募集の予算の中に、プロバイダー2件分を入れてほしいと、担当課に要望しておく。ただ、市の施設でWi-Fiを入れているところは無い。

⑥ その他

・ボランティアの担い手に新顔が少ないように感じている。ただ一方で、子孫世代に呼ばれつくば市に転入してきた、元気なシニア層もいっぱいいることは確かで、広報によって参加が見込めるのではと考える。

・イベントカレンダーの募集によりボランティアが見つかった事例が参加者から挙がった。人を必要としている団体は、センターに情報をいただくことで、市民の目につく機会が増える。

・現在センタービル内にチラシコーナーを拡大しており、繁華街に来た市民に広報できる機会が増えたことが団体の中でもメリットになっているため、モール内または活用できる範囲にあると嬉しい。

平成 28 年第 2 回利用者懇談会 実施記録

日時:平成 28 年 2 月 28 日(火)11:30～14:30

懇談参加者:17 団体 18 名



個人ボランティア

参加スタッフ(計 10 名)

松浦、藤原、

議事記録

(1) 懇親会の部

昼食を取りながら、団体間やセンタースタッフとの交流

(2) 懇談の部

① 施設立地や設備増設に関する要望

(a) 会議スペースの現状には不満がある。他の利用者がたてる音(機械の動作音や談話スペースでの会話等)が雑音として入り、会話をしづらい。壁で仕切られた「部屋」としての会議場所を確保して欲しい。

<返答>

担当課には、何度もお願いしている。つくば市も、センターが狭い事は把握しているが、今の所、回答はない。

(b) 市民活動センターの施設拡張をすぐに実現することが難しいならば、会議室のみサテライトとして近隣の別所に設置する等の代替策は講じられないだろうか。

<返答>

それについても、お願いはしてある。講習会等なら、交流センターを無料で使えるので、そちらも利用してほしい。

(c) 市内広域から公共交通を利用して来る会のメンバーも少なからずおり、現立地には満足している。もしも移転の話が出た場合は、公共交通からあまり離れてほしくない。

<返答>

前回の利用者懇談会でも同様の意見が出たので、担当課にはお話しているが、センター移転になるかどうかはまだわからない。

(d) 駐車場から少し歩かないといけないため、車椅子での利用や、印刷のため紙を台車で運ぶ場合(特に雨天時)は不便を感じる。(センタービルの荷捌き場が活用可能である旨は伝える)

<返答>

確かにその通りだと思うが センターで使える駐車場は決まっているので、現時点は難しだが、要望だけは担当課に伝える。

(e) 会議も時代の波に乗ってIT 活用が進んでいる、個々の持参 PC をネットにつなげやすくするためにも、公共施設でのフリーWi-fi の導入を実現させてほしい。

<返答>

前回の利用者懇談会でもお話したが当センターのサーバが 1 本しかないため、事務用で使用している。そのサーバーには皆さんからお預かりしている個人情報が入っている PC にもつながっている。セキュリティー上難しい。

(f) ボランティア保険の加入手続きしに大穂のボランティアセンターまで行くことが大変。機関が異なるのは承知の上だが、市民活動センターも書類の受け取り窓口になってほしい。

<返答>

ボランティア保険は、つくば市社会福祉協議会が窓口なので、市民活動センターが受付窓口になるのは難しいが 実現できると良いと思っている。

(g) ボランティア登録を行っても、その後まったく声がかからないことがある。複数窓口に登録しに行くことは効率も悪く、支援窓口間で、ボランティアコーディネートのための情報共有化を図ってくれると助かる。

<返答>

つくば市社会福祉協議会のボランティア登録については、何も返答はできないが 情報共有のお願いをしているので、時間はかかるが少しずつできてくると思う。市民活動センターでは、ボランティアのマッチングを行っているので、是非来てほしい。

(h) NPO 法人の書類提出を水戸まで持っていくことは負担である、市町村窓口での受付を行っている自治体もあり、ぜひつくば市でも実現させてほしい。

<返答>

担当課にお願いしておきます。

③活動支援に関する要望

(a) 「仲間募集」をしたいが、自団体が持つチャンネルだけでは手不足、どのように発信すればよいか？

<返答>

イベントカレンダーに「募集」欄を設けて、市民に向けた発信を行っているので利用してほしい。今後は施設のチラシコーナーに「募集」のボードを作り発信口を増やしたい。

(b) 寄付金の控除が出来るように、認定 NPO 法人を目指したいが、ハードルが高い、市独自で NPO 法人向けにシステムを考えることは可能か。

(c) NPO 法人は事業所扱いになるため、クリーンセンターに間伐材を持ち込んだ際、処分量が発生してしまった。「NPO 法人」として減免を申請できないだろうか。

(d) 今後、発生するであろう公共施設の空物件について、市民活動が活用できるようにするには。

(e) ボランティア活動=無償という認識から転じて、なんでもタダでやってくれる団体と見られている節が、市民や企業・行政の利用者からも感じる時がある、人物金の有限の資源を手弁当で負担されているという、理解を得られるような周知が必要。

※(b)(c)(d)(e)については、担当課に伝える。

④その他の話題

(a) 1 本からのクリスマスに出展して活動紹介を行う事で、活動の良い広報につながった。今後も、様々な情報を送り、団体を巻き込んで行ってほしい。

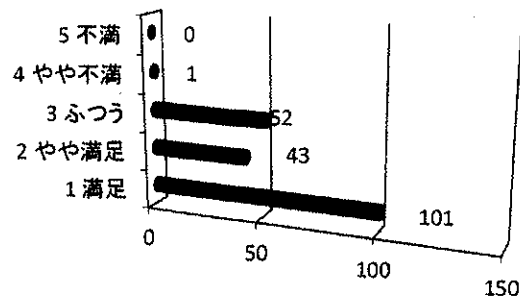
<返答>

ありがとうございます。

平成28年度 つくば市市民活動センター利用者アンケート集計

I 当施設の管理(整理、整頓など)は、行き届いていると思いますか。

項目	件数	%
1 満足	101	51.3%
2 やや満足	43	21.8%
3 ふつう	52	26.4%
4 やや不満	1	0.5%
5 不満	0	0.0%
合計	197	100.0%



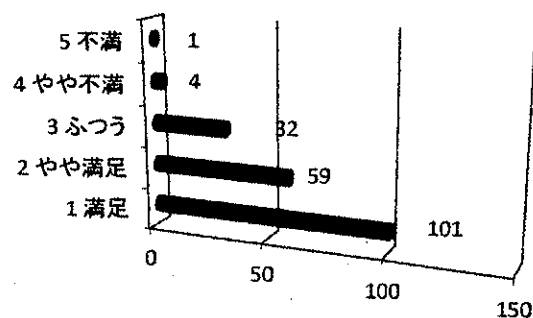
◇満足、やや満足の理由

◇やや不満、不満の理由

- ・印刷室がもう少し広いと良い(2件)。
- ・駐車券の無料駐車時間をMax 4Hにしてほしい。

II 当施設は、利用しやすいと思いますか。

項目	件数	%
1 満足	101	51.3%
2 やや満足	59	29.9%
3 ふつう	32	16.2%
4 やや不満	4	2.0%
5 不満	1	0.5%
合計	197	100.0%



◇満足、やや満足の理由

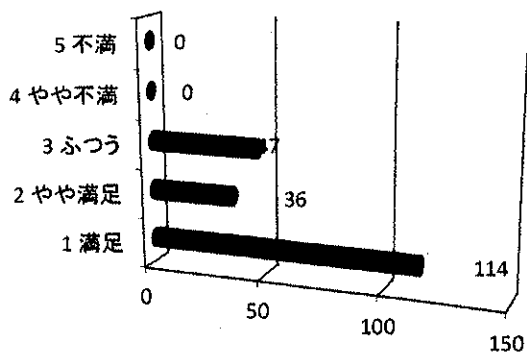
- ・つくば市の中心地にあり交通の便が良い(5件)。

◇やや不満、不満の理由

- ・センターの場所が分かりにくい(7件)。
- ・無料駐車場が少し遠い。
- ・もう少し広い部屋があると良い。
- ・プライバシーが保てるように個室が欲しい。

Ⅲ 当施設職員の対応は、いかがですか。

項目	件数	%
1 満足	114	57.9%
2 やや満足	36	18.3%
3 ふつう	47	23.9%
4 やや不満	0	0.0%
5 不満	0	0.0%
合計	197	100.0%



◇満足、やや満足の理由

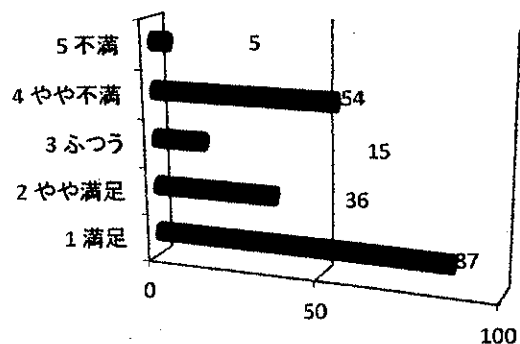
- ・親切です。日曜日でも利用できるのが良い。
- ・これからも丁寧な対応をお願いします。

◇やや不満、不満の理由

Ⅳ 上記の質問を含めて、改善してほしい点がありましたら、記入してください。

①会議スペースについて

項目	件数	%
1 満足	87	44.2%
2 やや満足	36	18.3%
3 ふつう	15	7.6%
4 やや不満	54	27.4%
5 不満	5	2.5%
合計	197	100.0%



◇やや不満、不満の理由(改善してほしい点)

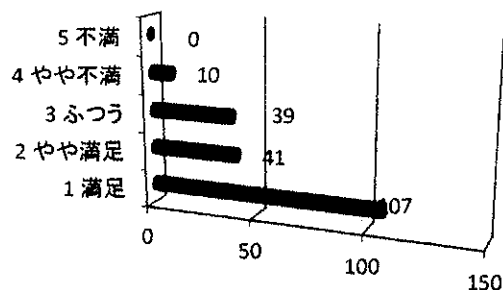
- ・せまい(9件)
- ・会議が重なると、隣の声が気になる(8件)
- ・独立した会議室がほしい(10件)
- ・オープンスペースでは無いほうが良い(5件)。
- ・他の作業音や通行人の声(特に幼児がうるさい)が入り会議に集中出来ない。
- ・ぶらっと来て長居をする雰囲気ではない(2件)。

◇満足、やや満足の理由

- ・使用料金が無料なので助かる。
- ・雨の日で寒かったが部屋は暖かく助かった。
- ・明るく広々としている(2件)。

②印刷機・パソコンなど機器や備品について

項目	件数	%
1 満足	107	54.3%
2 やや満足	41	20.8%
3 ふつう	39	19.8%
4 やや不満	10	5.1%
5 不満	0	0.0%
合計	197	100.0%



◇やや不満、不満の理由(改善してほしい点)

- ・WIFIの接続環境が無い(6件)。
- ・ネットワーク環境が悪くつながりにくい事がある。プロバイダーのACCSは変更すべきだと思う(3件)。
- ・機器が整備不良の時があった(3件)。
- ・PCがもう一台あると便利(2件)。
- ・印刷の濃度変更ができなかった。

◇満足、やや満足の理由

- ・印刷機の速度も速く性能も良く使いやすい(4件)。
- ・多機能な機器や備品がそろっていて助かる。
- ・取扱いが不明の時、職員が丁寧に教えてくれた。

◇その他

- ・プロジェクターの利用料金を無料にしてほしい。

V 上記以外にご意見等(良好点を含む。)がありましたら、記入してください。

- ・常に丁寧に対応して頂き助かっています(14件)。
- ・会議スペースで飲食が出来るのは便利で良いと思う。
- ・市民活動センターのPRが足りない。(5件)。
- ・職員の方が広報等のついて相談に乗ってもらい大変助かりました。
- ・Copy機等もっと便利に活用したいので使用方法の講座を開いてほしい。
- ・市民活動センターの利用開始時間を9:00~にしてほしい。
- ・センターに集まる様な企画が恒常的にあるとよいと思います。
- たとえば、毎月1回、センター利用団体の持ち回りでPRカフェを開催するとか・・・(2件)。
- ・電車での利用者としては便利な場所ですので移転は望みません。
- ・市民活動に対する、市行政の支援が不足している(2件)。
- ・職員が明るく挨拶をしてくれて嬉しい。

性別

	件数	%
男性	47	24%
女性	98	50%
無記入	52	26%
合計	197	100%

年齢

	件数	%
10代	2	1%
20代	0	0%
30代	10	5%
40代	24	12%
50代	21	11%
60代以上	101	51%
無記入	39	20%
合計	197	100%

住所

	件数	%
市内	104	53%
市外	6	3%
無記入	87	44%
合計	197	100%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民活動団体利用	件数	30	25	24	20	12	19	25	19	16	23	22	29	264
	人数	240	182	183	161	175	161	213	183	127	190	188	224	2,227
センター事業利用	件数	2	4	4	5	3	3	4	3	4	2	6	2	42
	人数	25	30	54	58	34	35	38	20	562	28	102	31	1,017
合計	件数	32	29	28	25	15	22	29	22	20	25	28	31	306
	人数	265	212	237	219	209	196	251	203	689	218	290	255	3,244

(%)	
27年度計	前年度比
314	84%
2,654	84%
41	102%
431	236%
355	86%
3,085	105%
26年度計	
351	
2,725	
41	
425	
392	
3,150	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民団体利用	利用件数	98	99	73	68	37	77	65	61	40	64	63	829
	製版枚数	614	643	400	433	287	410	496	336	247	440	278	5,248
	印刷枚数	92,655	77,669	56,152	61,554	45,315	93,574	63,797	54,180	35,689	82,764	59,955	813,276
	売上金額	30,700	32,150	20,000	21,650	14,350	20,500	24,800	16,800	12,350	22,000	13,950	262,400
センター事業利用	製版枚数	42	28	43	32	16	49	45	22	48	45	29	445
	印刷枚数	15,331	13,338	15,013	20,807	10,871	31,367	18,124	11,214	13,642	20,305	17,484	203,108
	利用推計金額	2,100	1,400	2,150	1,600	800	2,450	2,250	1,100	2,400	2,250	1,450	22,250
	製版枚数	656	671	443	465	303	459	541	358	295	485	308	5,693
合計	印刷枚数	107,986	91,007	71,165	82,361	56,186	124,941	81,921	65,394	49,331	103,069	77,439	1,016,384
	利用推計金額	32,800	33,550	22,150	23,250	15,150	22,950	27,050	17,900	14,750	24,250	15,400	284,650

(%)	前年度比	27年度計	26年度計
94%	88%	945	1,071
5,595	94%	5,595	5,540
1,051,231	77%	1,051,231	1,156,373
279,750	94%	279,750	277,000
391	114%	391	401
147,017	138%	147,017	90,042
19,550	114%	19,550	20,050
5,986	95%	5,986	5,941
1,198,248	85%	1,198,248	1,246,415
299,300	95%	299,300	297,050

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民活動	16,860	27,420	9,540	7,340	10,090	10,030	16,040	14,070	11,400	12,870	12,830	8,890	157,380
センター事業	0	90	50	490	50	0	550	50	0	150	0	200	1,630
	1,276	1,426	564	578	899	783	994	1,077	480	1,162	968	534	10,741
カラ—枚数	82	265	79	41	23	44	133	67	132	28	63	75	1,032
合計	18,860	27,510	9,590	7,830	10,140	10,030	16,590	14,120	11,400	13,020	12,830	9,090	159,010

27年度計	前年度比
200,340	79%
4,400	37%
12,819	84%
1,531	67%
204,740	78%

26年度計	
257,790	
30,410	
15,750	
2,614	
288,200	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
パソコンの利用	72	73	42	57	78	72	72	87	50	61	70	70	804
印刷枚数	7	15	1,164	74	10	31	0	0	35	5	0	0	1,341
プリンターの利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上金額	70	150	11,640	740	100	310	0	0	350	50	0	0	13,410

(%)	27年度計	前年度比
	854	94%
	1,404	96%
	14,040	96%
26年度計		
		1,047
		3,172
		31,720

[illegible]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
チラシ掲載	利用者件数	55	30	56	47	51	47	59	28	41	40	48	37	539
掲示板	利用者件数	14	13	14	13	12	12	21	11	11	8	2	10	141

		27年度計	前年度比
チラシ掲載	利用者件数	503	107%
掲示板	利用者件数	134	105%

[illegible]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比 (%)	26年度計
昼間 人数	564	598	2,389	556	3,502	498	533	487	1,060	464	503	496	11,650	104%	10,557
夜間 人数	176	106	168	92	248	127	168	120	111	91	137	103	1,647	83%	2,148
合計 人数	740	704	2,557	648	3,750	625	701	607	1,171	555	640	599	13,297	101%	12,705

資料5 市民活動団体の登録集計表

市民活動団体の登録集計表

平成29年3月31日現在

	分野	主な活動	活動内容
1	保健、医療、福祉	35	52
2	社会教育	8	47
3	まちづくり	17	44
4	観光の振興	0	9
5	農山漁村又は中山間地域	1	5
6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	13	33
7	環境の保全	14	26
8	災害救援	0	6
9	地域安全	1	10
10	人権の擁護又は平和	9	14
11	国際協力	9	14
12	男女共同参画社会の形成の促進	0	10
13	子どもの健全育成	30	58
14	情報化社会の発展	4	11
15	科学技術の振興	1	4
16	経済活動の活性化を図る活動	0	6
17	職業能力の開発又は雇用機会の拡充	1	8
18	消費者の保護	2	3
19	AからRまでの中間支援	0	1
20	都道府県庁や政令指定都市の条例で定められた活動	0	0
21	上記に外用しない活動	0	9
	合計数	145	370

平成28年度登録団体

(50音順)

新規登録15団体の追加を行いました。また、9団体が解散や移転等の理由で登録解消しました。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1 [REDACTED] | 23 [REDACTED] |
| 2 F-M-C (NPO) | 24 海外植物遺伝資源活動支援つくば協議会 (NPO) |
| 3 アクアポニクスを広める研究会 (NPO) | 25 Kind Heart Network (NPO) |
| 4 アクティブつくば (NPO) | 26 [REDACTED] |
| 5 アサザ基金 (認定NPO) | 27 [REDACTED] |
| 6 [REDACTED] | 28 [REDACTED] |
| 7 アセンブル (NPO) | 29 [REDACTED] |
| 8 [REDACTED] | 30 [REDACTED] |
| 9 [REDACTED] | 31 劇団クリエ (NPO) |
| 10 居場所サポートクラブロベ (NPO) | 32 [REDACTED] |
| 11 [REDACTED] | 33 [REDACTED] |
| 12 [REDACTED] | 34 [REDACTED] |
| 13 茨城県中途失聴・難聴者協会 (NPO) | 35 国際農民参画型技術ネットワーク (NPO) |
| 14 [REDACTED] | 36 [REDACTED] |
| 15 いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい (NPO) | 37 [REDACTED] |
| 16 [REDACTED] | 38 [REDACTED] |
| 17 [REDACTED] | 39 [REDACTED] |
| 18 [REDACTED] | 40 子どものための救命教室 (NPO) |
| 19 [REDACTED] | 41 [REDACTED] |
| 20 [REDACTED] | 42 [REDACTED] |
| 21 [REDACTED] | 43 穴塚の自然と歴史の会 (認定NPO) |
| 22 [REDACTED] | 44 [REDACTED] |

45 自然生クラブ (NPO)
46 [REDACTED]
47 市民のための健康・医療ネットワーク (認定NPO)
48 若年者社会参加支援普及協会アストリンク (NPO)
49 自由広場 (NPO)
50 [REDACTED]
51 [REDACTED]
52 スマイル・ステーション (NPO)
53 [REDACTED]
54 [REDACTED]
55 [REDACTED]
56 [REDACTED]
57 [REDACTED]
58 [REDACTED]
59 [REDACTED]
60 つくばアーバンガーデニング (NPO)
61 つくばアクアライフ研究所 (NPO)
62 [REDACTED]
63 [REDACTED]
64 [REDACTED]
65 [REDACTED]
66 [REDACTED]
67 [REDACTED]
68 つくば環境フォーラム (NPO)
69 [REDACTED]
70 [REDACTED]
71 つくばクリエイティブリサイクル (NPO)
72 つくば建築研究会 (NPO)
73 [REDACTED]
74 [REDACTED]
75 [REDACTED]
76 [REDACTED]
77 [REDACTED]
78 [REDACTED]
79 [REDACTED]
80 [REDACTED]
81 [REDACTED]
82 つくば市民活動推進機構 (NPO)
83 [REDACTED]
84 [REDACTED]
85 [REDACTED]
86 [REDACTED]
87 つくばスポーツアカデミー (NPO)
88 [REDACTED]
89 [REDACTED]
90 [REDACTED]
91 [REDACTED]
92 [REDACTED]
93 [REDACTED]

94 [REDACTED]
95 [REDACTED]
96 [REDACTED]
97 つくばピンクリボンの会 (NPO)
98 つくばフットボールクラブ (NPO)
99 [REDACTED]
100 [REDACTED]
101 つくば臨床検査教育・研究センター (NPO)
102 [REDACTED]
103 [REDACTED]
104 [REDACTED]
105 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク (NPO)
106 [REDACTED]
107 友の会たすけあい (NPO)
108 [REDACTED]
109 [REDACTED]
110 華の幹 (NPO)
111 [REDACTED]
112 バンビーノ館 (NPO)
113 PCY298 (NPO)
114 フュージョン社会力創造パートナーズ (NPO)
115 FutureSupport (NPO)
116 [REDACTED]
117 [REDACTED]
118 [REDACTED]
119 ベル・サポート (NPO)
120 [REDACTED]
121 [REDACTED]
122 [REDACTED]
123 ポノポノクラブ (NPO)
124 ポランのひろば (NPO)
125 マナーズ (NPO)
126 ままとーん (NPO)
127 [REDACTED]
128 [REDACTED]
129 ものづくり工房 ヘパリストス (NPO)
130 [REDACTED]
131 [REDACTED]
132 モンキーマジック (NPO)
133 “矢中の杜”の守り人 (NPO)
134 [REDACTED]
135 よかつぺいばらき (NPO)
136 ライフ・パートナーつくば (NPO)
137 [REDACTED]
138 [REDACTED]
139 リヴォルヴ学校教育研究所 (認定NPO)
140 [REDACTED]
141 [REDACTED]
142～145 個人ボランティア (4名)

1. 運営に関する会議

名称	回数	開催日
諮問委員会	1	12/8
利用者懇談会	2	10/25、 2/28
連絡調整会議(運営会議)	5	7/12、8/31、1/6、2/8、3/9
合計	8	

2. 指定事業

(1) 市民活動入門講座

名称	回数	参加者
ボランティア入門『はじめての一步』	2	3

(2) 市民活動専門講座

名称	回数	参加者
国際ボランティア入門	1	10

(3) 市民活動のデータベース化事業

名称	内容
登録団体のデータベース化	市民活動団体の情報を随時更新しています。
イベント・講座のデータベース化	イベントカレンダーに掲載する為に必要な イベント・講座・募集等の情報をデータベース化して保存しています。
センター運営のためのデータベース化	団体の利用した会議コーナーや印刷、駐車サービス券等を データベース化して、サービスに役立てています。

(4) 広報事業

名称	内容
広報紙『びよ』	年4回 8,000部発行
イベントカレンダー	年12回 15,000部発行
ホームページ	随時更新
メールマガジン	年12回
ラジオ番組『市民活動センターからこんにちは』	年50回 放送
Facebook	随時更新
登録団体一覧 冊子	300冊

3. 自主事業

(1) 相談事業

名称	回数	参加者
NPO相談	4	6
『アイラブつくばまちづくり補助金』相談	19	20
市民活動・運営相談	53	55
パソコン相談	50	50
その他の相談	28	28
助成金相談(アイラブ以外)	6	6
① 市民ビジネス相談	1	1
合計	161	166

(2) 講座・交流会

名称	回数	参加者
NPO特別講座『法律講座』	1	15
パソコン講座	12	84
まちをよくする市民ビジネス研究会	12	13
つくば災害支援連絡会	3	32
アイラブつくば助成金説明会	3	12
吾妻交流センター共同企画『ボランティア入門講座』	2	10
吾妻交流センター共同企画『避難所体験講座』	1	17
常総支援交流会	5	87
合計	39	270

(3) イベント

名称	回数	参加者
市民活動フェスタ&こむせん市	1	2,000
一本からのクリスマス	1	6,700
合計	3 2	8,700

(4) ホームページ・facebook等のWeb作成、メンテナンス事業

名称	回数
ホームページ改装	1

(5) デザイン・印刷事業

名称	回数
ポスター・チラシ・会報・書類作成	56

(7) その他

名称	回数	開催日
社会教育指導員のためのチラシ・企画書作成講座	1	8/31

平成28年度 つくば市市民活動センター予算実績表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【収入】

(単位:円)

科 目	予算	決算	差額	備 考
指定管理料	12,238,000	12,238,000	0	
設備利用料金				
① コピー機	200,000	157,380	▲ 42,620	
② 印刷機	350,000	262,400	▲ 87,600	
③ PCプリント	10,000	1,990	▲ 8,010	
事業収入				
① 指定事業	15,000	3,000	▲ 12,000	
自主事業	400,000	232,700	▲ 167,300	
② 販売等手数料・他				
物販	400,000	275,420	▲ 124,580	
使用料	40,000	22,700	▲ 17,300	
③ 大型プリンター	400,000	229,930	▲ 170,070	
④ その他のサービス	170,000	171,530	1,530	印刷事業137,330円、広告料20,000円、その他14,200円
⑤ その他		307	307	
収入 計	14,223,000	13,595,357	▲ 627,643	

【支出】

科 目	予算	決算	差額	備 考
賃金				
給与	8,200,000	8,632,500	▲ 432,500	
法定福利費	300,000	262,556	37,444	健康・厚生249,542円、雇用 13,014 円
職員用駐車料金	260,000	259,200	800	
報償費				
指導料	80,000	80,000	0	
旅費				
研修参加費	50,000	32,160	17,840	
旅費・交通費	50,000	35,612	14,388	
需用費				
消耗品	800,000	813,251	▲ 13,251	事務・印刷用消耗品他
備品	100,000	0	100,000	
新聞購読料	36,000	35,880	120	
図書	10,000	0	10,000	
印刷費	150,000	194,545	▲ 44,545	冊子・チラシ
電気料	120,000	101,254	18,746	
空調費	650,000	681,152	▲ 31,152	
修繕料	30,000	4,489	25,511	
パフォーマンスチャージ	100,000	75,425	24,575	
役務費				
電話料	100,000	93,180	6,820	
郵便料	50,000	43,690	6,310	
プロバイダー使用料	62,000	59,972	2,028	
塵芥処理費	14,000	13,140	860	
賠償保険料	137,000	146,810	▲ 9,810	
施設管理費				
清掃委託	65,000	64,800	200	
施設設備管理委託	117,000	116,640	360	
印刷機保守点検委託	175,000	172,800	2,200	印刷機2台分
自主事業費				
謝礼	150,000	138,000	12,000	
会議費	0	40,840	▲ 40,840	
会場借上げ料	50,000	0	50,000	
製作・準備費など	50,000	0	50,000	
使用料及び賃借料				
駐車場使用料	500,000	373,230	126,770	
その他賃借料	80,000	98,860	▲ 18,860	
会計ソフト使用料	11,000	10,800	200	NPO会計ソフト使用料
PC賃借料	22,000	21,902	98	
カラー複写機賃借料	32,000	31,104	896	28年度から一年契約に更新
印刷機賃借料	335,000	334,584	416	二色印刷機301,644円+単色印刷機32,940円
玄関マット・モップ賃借料	17,000	16,848	152	
その他の経費				
物販仕入	220,000	112,768	107,232	
その他	1,100,000	524,640	575,360	諸税483,000円、その他41,640円
支出 計	14,223,000	13,622,632	600,368	

収支残高

▲ 27,275

資料8 市民活動フェスタ報告

つくば市市民活動フェスタ&こむせん市 2016 報告

1. 実施内容

日 時／2016年6月 19日(日) 11:00～15:00 (受付・準備は 10:15 から)

場 所／つくばクレオ前広場

参加費／入場無料

来場者数／約 2000 名

参加団体／18 団体(複数ブース展開または部門をまたいだ参加団体あり)

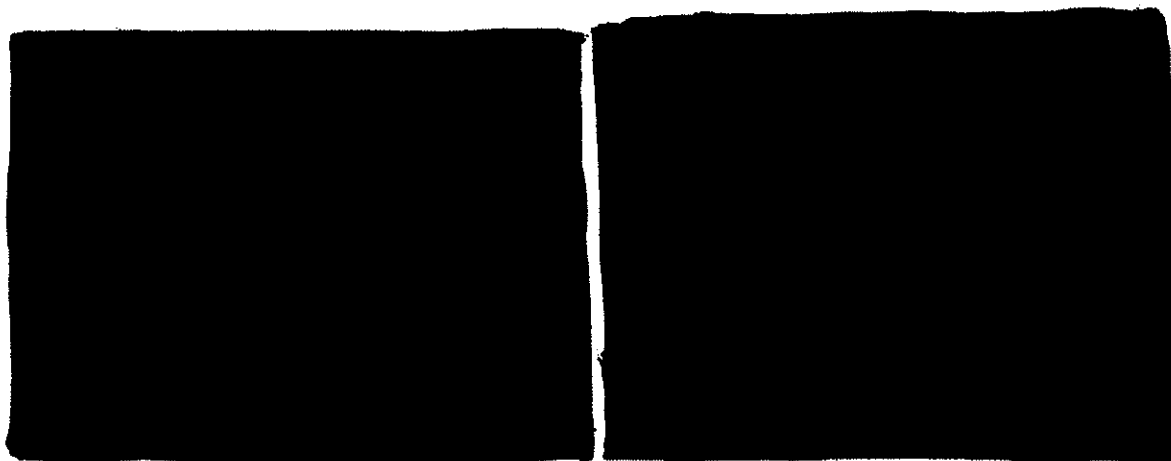
①体験ブース部門 (11 団体)

②市民活動チャリティーバザー部門 (3 団体)

③ステージ部門 (5 団体によるパフォーマンスを実施、時間は 12:00～14:30)

④その他／着ぐるみの会場巡回(市民活動センターマスコット「ぴよ」、
つくば市「フックン船長」、個人作成キャラクター「ひげぱんだ」)

当日スタッフ／16 名 (うち学生ボランティア2名を含む)



2. 広報

(1) チラシ・ポスターの掲示

- ・出展募集チラシの配布 (募集期間は 4 月 4 日～5 月 31 日)
- ・開催告知チラシ(A4 サイズ/1000 部)

(2) 紙面媒体への掲載

- ・広報つくば
- ・常陽リビング
- ・クーポンマガジン「クータ」6月号掲載
- ・イベントカレンダー(市民活動センター広報紙)

(3) その他

3. 企画協力団体(50 音順)

- ・常陽リビング:告知(募集および開催)
- ・筑波銀行 :駐車場
- ・つくばセンター地区活性化協議会:機材の提供(机、椅子、テント等)
- ・筑波都市整備株式会社(クレオスクエア)

:機材の提供、控室の提供、ステージの設営・運営のサポート

※つくば市まちなみ整備課 協力のもと「公共空間活用実証実験」として実施

4. 実施の概要

趣旨

- ① つくば市内で社会貢献活動を行なう市民活動団体(ボランティアの任意団体、NPO 法人など)の取り組みを広く市民に伝え、また団体間の交流をつくり、市民みんなでつくるより良いまちづくりの促進を目的とする。
- ② 活動紹介を行うとともに、手づくり品販売等で、各団体の活動費捻出の場を提供する。
- ③ こむせん市部門として地場産業振興に関わる一般の営利の出店枠を設け、集客効果を高めるとともに、出店者間の交流や情報交換に活用する。
- ④ つくばセンター地区のにぎわい創出に寄与する。

総括

今年度は、より多くの市民に市民活動に関心を持ってもらえるようにするため、新たに「ステージ部門」を設けた。またより多くの団体が出展し、体験ブース等で、多くの市民とふれあえるよう、会場を昨年度のクレオスクエア1階通路(MOGストリート)から、2階のつくばクレオ前広場に移して実施した。(雨天の場合はMOGストリートに移動、ステージ部門のみを中止する体制をとっていたが、幸いにも天気にも恵まれた)。

つくば市まちなみ整備課と連携をとり、「公共空間活用実証実験」に加えてもらい当企画を実施したため、道路使用届け等の事務作業が大幅に軽減でき、結果、イベントの充実につながった。また、筑波都市整備株式会社(クレオスクエア)からは機器の貸し出し、ステージ運営の協力を得ることができた。

参加団体については、市民活動団体の参加は去年より1団体少ない11団体ではあったが、警察署、消防署などの公的機関やボーイスカウトといった民間団体の参加もあり、以前よりもバラエティに富み充実していた。ステージ部門では太鼓やジャグリングといったパフォーマンス団体が参加して大いににぎわい、着ぐるみ3体も盛り上げにひと役買って集客に貢献した。

ただ、今年度はこむせん市(一般)部門の出店がなく、買い物を楽しみたいお客さんにはもの足りなかったのではと思われるので、次回の課題としたい。

5. 企画の振り返り

(1) 企画全般について

成果	・ チャリティーバザーが過半数だった前回に比べ、ステージ発表や親子が楽しめる体験ブースといったバリエーションに富んだ出展内容を揃えることができたため、より多くの来場者が足を止めて見てくれるようになった。 ・ 無事晴天のもとで実施でき、初めての屋外実施となった。出展者も多くの市民に向けて活動紹介をすることができた。
改善点	・ 例年 11 月ごろに行っていたものを催事の少ない 6 月に移動した、初回であることもあり、出展団体数が 18 とまだまだ少ない段階である。当イベントの実施報告を市民団体に発信していくことで、更なる参加につなげたい。 ・ 「市民活動」というタイトルだけでは、これまで接点のない市民に向けて来場を促進するにはつかみが弱い。多くの市民の関心を引くためにも、今回のステージや体験部門のようにイメージがつかみやすい出展内容や目に留まりやすいイメージを載せて、早い段階で広報を行えるようにしたい。



(2) 出展団体について

① 募集

成果	・ 市民活動団体に留まらず、消防署や警察署等にも参加を呼びかけ、まちづくりをより広い視点で市民に紹介できた。
改善点	・ 各団体とも総会時期であったため、検討期間を見越して 4 月から 5 月末日までを募集にあてた。出展者に対してのスケジュールとしては適切であったが、出展内容が実施 3 週間前まではっきりせず、結果、1～2 か月前の段階の広報ではどんな出展があるかといった PR に役立てることができなかった。募集受付を 1 次、2 次等に段階的に分けて、広報戦略とも歩調を合わせていきたい。

②体験ブース・市民活動チャリティーバザー部門

成果	・ 車両乗り入れを申請していたため、機材の準備を早く済ませることができた。 ・ 遊びや体験を通じて市民活動とのふれあいができる場が広がったため、親子連れを中心に団体と市民との交流が促進された。
改善点	・ ブースのディスプレイが見づらく、せっかくの体験内容が来場者に伝わらないブースが見られた。運営側からも各出展者にアドバイスをかけたい。 ・ 若い世代の来場者と、販売ブースで扱う商品とのマッチングも必要であり、募集受付から出展までの間での助言・マネジメントがあってもよい。

③ステージ部門

成果	・ ステージの運営はスムーズで、パフォーマンスやデモンストレーション時には多くの観客がきた。司会を学生2名が行い、自分で考えたナレーションをして頑張っていた。 ・ クレオスクエアのステージ機材を使用出来たため、当方での搬入・設営負担が軽減できた。
改善点	・ 団体の活動紹介(トーク)のみの時はお客さんがほぼいなくなり、足を止めさせるなんらかの工夫が必要である。 ・ 今回の時間区分で見越すと最大 8 団体までしかステージに立てないため、募集多寡になった場合のことも今後は検討すべきである。

④こむせん市

成果	・ 特になし
改善点	・ 市民一般の収益活動に関するブース部門を『こむせん市』と題して募集をかけたが、結果応募は無かった。より市民に分かりやすい募集内容を検討する。 ・ ボランティアの出展者も飲食ブースの隣接を希望している声があるため、今後の課題として検討したい。

⑤その他

成果	・ 今年は着ぐるみ3体(つくば市の「フックン船長」、団体参加の「ひげぱんだ」、市民活動センターの「ぴよ」)が参加。子どもにも大人にも大変な人気であった。
改善点	・ ペDESTリアンデッキは自転車も走行可能であるため、来場者と自転車とのトラブルが発生しないように、注意を向けるスタッフが必要となる。

(3) 運営サイドについて

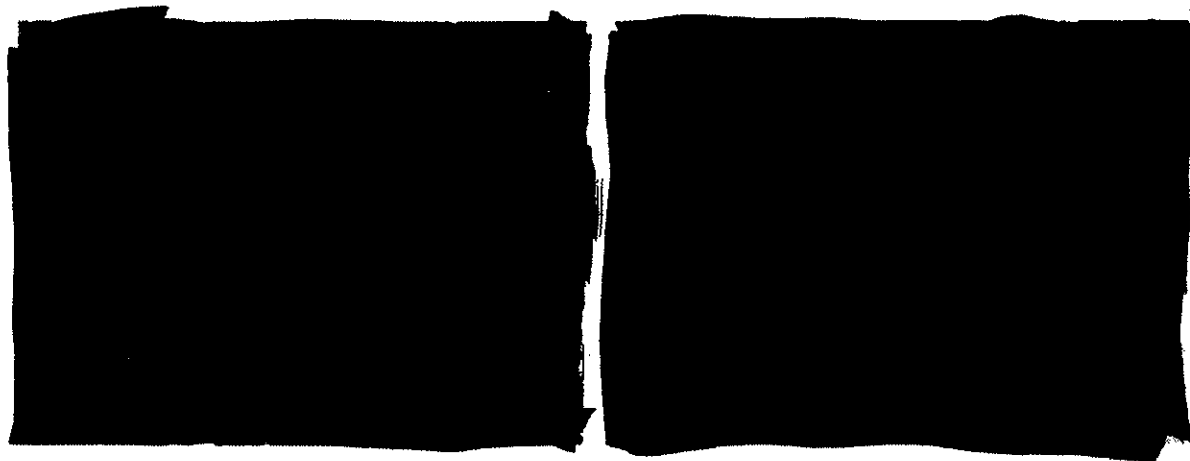
成果	・ 筑波学院大学2年生2名にスタッフとして関わってもらえ、催事そのものにも活気を与えることができた。 ・ 熱中症対策として、出展者およびスタッフに本部でお茶を配布した。
改善点	・ 次年度以降の開催規模拡大を念頭に入れると、当日の搬入出および設営にあたるスタッフについては増員が必要である。

6. 収支報告(概算)

		金額(円)	摘要
収入の部	出展料	6,000	テント使用料含む
	収入計	6,000	
支出の部	印刷製本費	14,936	チラシ・ポスター印刷等
	消耗品費(設営使用)	7,901	テープ、風船
	消耗品費(その他)	5,844	飲料等
	支出計	28,681	
収支差額		▲22,681	差額分を自主財源で補てん

※ 運営に携わったスタッフの人件費、燃料費等は計上していません。

※ テントや机・イス、音響機材の使用料・賃借料は、今回、協力団体からの提供のおかげで、借用備品で全て賄うことができ、支出はありません。



資料9 駐車サービス券発行状況

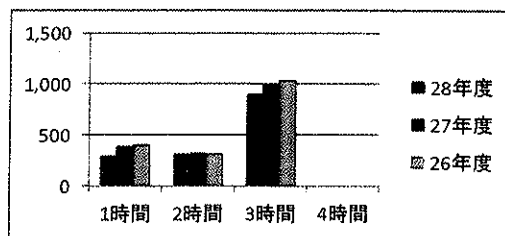
平成28年度駐車サービス券発行状況

1) 年度別駐車サービス券発行状況

都市交通センター請求書

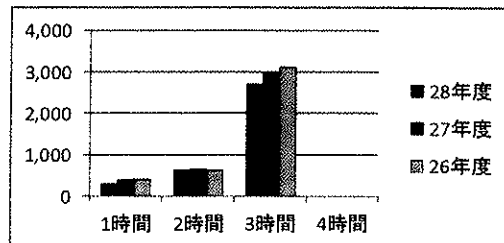
①駐車サービス券発行状況

	1時間	2時間	3時間	4時間	計
28年度	285	307	896	0	1,488
27年度	379	319	989	0	1,687
26年度	403	312	1,037	0	1,752



②駐車サービス発行状況(1時間単位の発行台数)

	1時間	2時間	3時間	4時間	計
28年度	285	614	2,688	0	3,587
27年度	379	638	2,967	0	3,984
26年度	403	624	3,111	0	4,138



※1時間＝発行台数×1、2時間＝発行台数×2、3時間＝発行台数×3、4時間＝発行台数×4

2) 用途別駐車サービス券発行状況

データ参照: 作業スペース等利用受付・駐車サービス請求書

①平成28年度用途別発行内訳(台)

	会議スペース			作業スペース
	1時間	2時間	3時間	1時間
4月	0	35	99	37
5月	0	26	61	37
6月	0	12	101	24
7月	1	21	41	26
8月	1	9	42	13
9月	1	33	39	19
10月	4	28	78	19
11月	0	16	65	19
12月	2	13	50	12
1月	0	27	61	10
2月	0	20	59	20
3月	1	28	87	20
計	10	268	783	256

②参考) 平成27年度用途別発行内訳(台)

	会議スペース			作業スペース
	1時間	2時間	3時間	1時間
4月	1	36	63	37
5月	4	11	97	30
6月	5	28	120	29
7月	4	24	80	31
8月	0	19	46	21
9月	1	27	82	36
10月	5	45	105	34
11月	6	14	79	26
12月	0	31	59	27
1月	6	37	77	20
2月	2	19	86	25
3月	2	28	93	27
計	36	319	987	343

3) 駐車サービスに対する意見・提案

- ・会議スペースの利用者においては、3時間が一番多いという経過が今年度も見られました。
- ・利用枚数が昨年同様減ってきているのは、車での来館者が減っているのではなく、多くの使用者が近隣の駐車場(ショッピングセンター等)を使用しているからです。
- また「南2駐車場だけしか使えないが できればセンタービルの駐車場も使えるようにしてほしい」と言う要望もありました。

労働環境確認シート(平成28年度分)

管理する施設名	つくば市市民活動センター		
指定管理者	所在地	つくば市松代5丁目9-10	
	名称	特定非営利活動法人 マイル・ステーション	
	代表者	松浦 幹司	
	施設管理に 従事する職員数	正規職員13名 , 非常勤雇用 7名	

項 目		チエック (該当に ☐)	
Q1)	従業員の採用時に、賃金、労働時間など労働条件について必要な事項を記載した書面を交付していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q2)	従業員を使用する場合に就業規則を作成し、届出していますか。 いいえの場合はその理由 () はいの場合はQ3, Q4へ	☒ はい	☐ いいえ
Q3)	就業規則は、適正な内容になっていますか。また、変更した場合、適正に労働基準監督署に届出していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q4)	就業規則は、適正な方法で従業員に周知していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q5)	定期健康診断は、適正に実施していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q6)	安全衛生管理体制は、適正に整備、運用していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q7)	労働時間を把握し、適正に管理していますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q8)	有給休暇の付与は適正ですか。	☒ はい	☐ いいえ
Q9)	労働基準法36条に基づく労使協定を締結し、労働基準監督署に届出していますか。 いいえの場合はその理由 () はいの場合 また、労使協定の締結・運用は適正ですか。	☒ はい	☐ いいえ
Q10)	賃金は従業員に直接、全額を通貨で毎月1回以上、一定期日を定めて支払っていますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q11)	時間外、休日、深夜勤務の割増し賃金について、適正に賃金を支払っていますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q12)	最も低い労働賃金単価はいくらですか。 ⇒ 時間額 800 円 (職種 : 平日日中)		
Q13)	社会保険・労働保険の加入状況、手続の時期等は適正ですか。	☒ はい	☐ いいえ
Q14)	労災事故が発生した場合、届出は適正に行っていますか。	☒ はい	☐ いいえ
Q15)	労働者名簿、賃金台帳、出勤簿、雇用契約書又は労働条件通知書、災害補償に関する書類の整備、管理は適正ですか。	☒ はい	☐ いいえ

つくば市における市民活動の現状と市民活動センターの 役割に関する調査アンケート実施結果

(筑波大学大学院 人間総合科学研究科 上田研究室・つくば市市民活動センター・NPO 法人スマイル・ステーション 協働によるアンケート結果をもと元に作成)

実施期間:平成 28 年3月～5月

アンケート配布数:216団体

アンケート回答数:110団体

1. 貴団体についてお尋ねします。

(1)「特定非営利活動法人(NPO 法人)」の認定を受けていますか。(はい・いいえ)

はい 52団体(47. 3%)

いいえ 55団体(50. 0%)

無回答 3団体(2. 7%)

<コメント>「はい」と「いいえ」の回答率はほとんど同じで、特筆すべき点は特にない。

(2)活動を始めてからどれくらいの期間になりますか。

1年以内 2団体(1. 8%)

1～3年 19団体(17. 3%)

3～5年 12団体(10. 3%)

5～10年 24団体(21. 3%)

10年以上 51団体(46. 4%)

無回答 2団体(1. 8%)

<コメント>10年以上活動していると答えた団体が最多で、つくば市内、近郊の活動団体には長期間に渡って活動を続けている団体が多いことがわかる。

(3)主な活動分野は、下記のどれにあてはまりますか。(複数回答可)

1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	42団体
2. 社会教育の推進を図る活動	20団体
3. まちづくりの推進を図る活動	27団体
4. 観光の振興を図る活動	7団体
5. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	6団体
6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	29団体
7. 環境の保全を図る活動	30団体
8. 災害救援活動	4団体
9. 地域安全活動	9団体
10. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	6団体
11. 国際協力の活動	10団体
12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	8団体
13. 子どもの健全育成を図る活動	36団体
14. 情報化社会の発展を図る活動	7団体
15. 科学技術の振興を図る活動	3団体
16. 経済活動の活性化を図る活動	5団体

- | | |
|-----------------------------|------|
| 17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 | 6団体 |
| 18. 消費者の保護を図る活動 | 1団体 |
| 19. その他 | 12団体 |

国際交流／地域及び近隣の中高年諸氏の居場所をつくる活動／産後の女性の活躍を図る活動／青年海外協力
隊員への支援活動／高齢者の活性化／地域イベント教護活動／老人会／環境教育／近隣大学の生徒の受け入
れ／障害児の健全育成

<コメント>回答数が多かったのが、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」と「子どもの健全育成を図る活動」の2つである。この両者はボランティア活動の中でも行われることの多いものだと思えていいのであろうか。

(4)貴団体の取り組みを紹介するホームページや SNS(Facebook 等)はありますか。

- | | |
|-------|-------------|
| 1. ある | 78団体(70.9%) |
| 2. ない | 32団体(29.1%) |

<コメント>SNS やホームページなどを持っている団体が7割を占めており、活動の告知や報告などを自前で行うことができる団体が数多い。

(5)活動を中心的に担うメンバー(スタッフ)は何名ぐらいいますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 5名以下 | 43団体(39.1%) |
| 2. 5～10名 | 33団体(30.0%) |
| 3. 10～20名 | 22団体(20.0%) |
| 4. 20名以上 | 12団体(10.9%) |

<コメント>活動を担うメンバーについては、5名以下の団体が最多で、人数が増えるにつれて、そのような団体数が逡減していることがわかる。

(6)専従の職員(有給)は何名いますか。 (人)

- | | |
|------|-------------|
| 0人 | 74団体(67.3%) |
| 1～5人 | 19団体(17.3%) |
| 6人～ | 8団体(7.3%) |
| 無回答 | 9団体(8.2%) |

<コメント>専従の職員数は圧倒的に0人と回答した団体数が多い。市民団体やNPOの金銭的余裕の無さを表していると考えられる。6人以上の団体がどのような活動をしているかなどについても関連性が見られるかもしれない。

(7)(5)や(6)の方々に、研修や学習の機会がありますか。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 定期的に研修や学習会を行っている。 | 20団体(18.2%) |
| 2. 不定期だが、研修や学習の機会がある。 | 51団体(40.4%) |
| 3. 研修や学習はしていない。 | 35団体(31.8%) |
| 4. 適した研修や学習の場が見つからない。 | 3団体(2.7%) |
| 5. 無回答 | 1団体(0.9%) |

<コメント>不定期ながらも研修や学習の機会がある団体の数が最多である。

定期的に研修、学習の場を設けている団体と併せると、64.5%になり、過半数の団体が研修や学習の機会を設けているということが分かる。安定した研修や学習の場を設けるのは課題の1つなのかもしれない。

(8)事業の紹介・報告(財務を含む)に関する資料を作成し、公開していますか。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 常にしている | 43団体(39.1%) |
| 2. 作成しているが、公開していない | 41団体(37.3%) |
| 3. 作成していない | 15団体(13.6%) |

4. 無回答 11団体(10.0%)

＜コメント＞報告書を作成している団体は 76.4%にのぼるが、それを公開しているのは 39.1%に留まる。NPO 法人には報告書の作成と報告の義務等が課されていると考えられるので、「公開」の範囲を回答者がどのように捉えたか、また、回答者が知っているのかどうか等によって回答が変化している可能性がある。

(9)活動を行う上で、困難や課題だと感じていることは何ですか。(複数回答可)

運営を続けるための課題

- | | |
|------------|------|
| 1. 資金 | 65団体 |
| 2. 物資 | 9団体 |
| 3. 人材 | 69団体 |
| 4. 知識やノウハウ | 21団体 |
| 5. ネットワーク | 17団体 |
| 6. その他 | 8団体 |

(施設、活動拠点となる土地がない／老齡／コンセプト作りと共有／会員の増強、集客)

＜コメント＞運営の課題については、やはり「資金」と「人材」の2つが突出していることが分かる。

事業を行うときの課題

- | | |
|------------|------|
| 1. 資金 | 59団体 |
| 2. 物資 | 8団体 |
| 3. 人材 | 61団体 |
| 4. 知識やノウハウ | 22団体 |
| 5. ネットワーク | 17団体 |
| 6. その他 | 8団体 |

(施設／活動拠点となる土地がない／活動場所／事業を開催する場所の確保／老齡／体力と機動力)

＜コメント＞事業を行うときの課題も同様に、「資金」と「人材」が課題となっているようである。

(10)社会貢献活動として行っているサービスを、ビジネスとして展開したいとお考えですか。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. ビジネスにするつもりである。 | 9団体 (8.2%) |
| 2. 可能性があれば、ビジネスにしたい希望がある。 | 26団体(28.6%) |
| 3. ビジネスにするつもりはない。 | 63団体(57.3%) |
| 4. 無回答 | 12団体(10.9%) |

「ビジネスにするつもりはない」の回答率が最も高かった。飽くまでも社会貢献活動として展開していくという在り方を望んでいる団体が多いようである。活動内容の性質にもよるかもしれないが、ボランティアだから気軽に参加する、というような人がいる人がいることも事実の1つなのかもしれない。

2. 市民活動センターについてお尋ねします。

(11)市民活動センターを利用したことがありますか。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. よく利用する | 17団体(15.5%) |
| 2. 時々、利用する | 34団体(30.9%) |
| 3. 数回だけ利用したことがある | 24団体(21.8%) |
| 4. ない | 26団体(23.6%) |
| 5. 無回答 | 9団体 (8.2%) |

＜コメント＞市民活動センターは時々利用するという団体が3割に上ったが、その反面で数回のみ利用、或いは利用したことがないという団体も約 45%に上っており、市民活動センターの更なる利用

促進を考えていく際には、Q11-2で上がっている利用しない理由などを踏まえていく必要があると考えられる。

(11-1)1と2に回答した方にお聞きします。市民活動センターのサービスについて、満足度を1(不満)～5(満足)の5段階でお答えください。

※1または2と回答した団体数52

満足度 項目	1(不満)	2	3	4	5(満足)	無回答
施設の場所	5団体	6団体	14団体	10団体	15団体	2団体
施設の規模	7団体	9団体	16団体	11団体	8団体	1団体
施設の設備・備品	2団体	9団体	17団体	12団体	10団体	2団体
施設の使いやすさ	2団体	7団体	15団体	16団体	11団体	1団体
スタッフの対応	6団体	8団体	5団体	11団体	21団体	1団体
サービスの内容	2団体	7団体	12団体	16団体	14団体	1団体

・＜施設の場所に関して＞

「やや満足」、「満足」の回答数を合計すると、Q11で「よく利用する」、「時々利用する」と答えた団体(52団体)のうち、半数近くの団体が満足よりの回答をしている。

・＜施設の規模に関して＞

ここでは、「どちらともいえない」を最多に、やや満足よりの回答数が多いが、山型のような回答傾向を示している。右側のグラフを参照のこと。

・＜施設の設備・備品に関して＞

ここでは、Q11.1.2と同様に、「どちらともいえない」を最多に、やや満足よりの回答数が多いが、山型のような回答傾向を示している。

・＜施設の使いやすさに関して＞

右のグラフでは「どちらともいえない」よりも「やや満足」の方が多く見えるが、度数の差は1しかないため、その差はあまりないように思われる。傾向としてはQ11.1.1などと同様かと感じられる。

・＜スタッフの対応に関して＞

この設問では「どちらともいえない」が最も少なく、満足が最も多いという結果になった。スタッフの対応が評価されているが、スタッフに結果が見られる可能性がある以上、気をつかった可能性もあるかもしれない。

(11-2)3と4に回答した方にお聞きします。市民活動センターを利用しない理由は何ですか。

※3または4と回答した団体数 50

1. 場所が遠い 5団体(10.0%)
2. 入りにくい 3団体(6.0%)
3. どんなサービスがあるか分からない 12団体(24.0%)
4. 必要なサービスがない 8団体(16.0%)
5. 利用の仕方が分からない 11団体(22.0%)
6. その他 11団体(22.0%)

(駐車料金が3時間までなので／駐車場が無い／駐車場不備／ネット会議／ネットを利用できるPC端末が少
ない／交流センターを使っている／特にサービスは必要ないが、印刷やチラシ・ポスター等にご協力いた
だいています。助かっています／必要ない／40人程度入れる会議室が必要なので。活動自体が少ないため)

＜コメント＞市民活動センターを利用しない理由としては、「どんなサービスがあるか分からない」と「利用の仕方がわからない」の2つに並んで、「その他」も多かったため、自由記述の方を参照し、ニーズの把握に努める必要があると思われる。

(12) 貴団体の主な活動場所についてお答えください。(複数回答可)

1. 市民活動センター	16団体
2. 地域交流センター	24団体
3. ボランティアセンター	5団体
4. カピオ	4団体
5. ノバホール	1団体
6. ふれあいプラザ	2団体
7. サイエンス・インフォメーションセンター	2団体
8. 老人福祉センター	2団体
9. 福祉支援センター	2団体
10. 各種体育施設	4団体
11. 中央図書館・美術館	2団体
12. 個人宅	18団体
13. その他	59団体

(自己施設／病院内の会議室等／地域の小～中学校／キリスト教会など／キャンプ場、ゴンタの丘／事務所／自前の事務所兼居場所／福祉施設・保育所・幼稚園／私設の専用ホール／研究学園駅を中心とした所／企業・市役所等／JICA 筑波国際センター／筑波山麓地域／平沢官衙遺跡及びその案内所・市民研修センター(北条)／大学・TV(局)など／企業の会計室／エポカル・オークラ・大学／筑波大学・国際会議場等／海外、つくば市松代2～3丁目の居住地域／運動施設／屋外公共地／貸会議室／自事業所／市内の公園／民間のレストラン等／フィールド福島県／他市の公民館／つくば市全域／小学校・福祉団体での活動／市民研修センター／出会いパーティー会場／宝篋山系／野外／中央公園レストハウス及び水の広場)

＜コメント＞活動拠点としては、市民活動センターと地域交流センターの2つに加え、個人宅が多かった。公共施設と同じくらい個人宅が使われているのは抑えておくべき事実かと感じる。また、その他の回答数も多かったため、自由記述の内容も参照したい。

(13) 市民活動センターのホームページを見たことがありますか。

ある	61団体(56.5%)
ない	41団体(37.3%)
無回答	8団体(7.3%)

＜コメント＞55%もの団体がホームページをみたことがあるとのことであるが、37%の団体は見たことがないそうなので、更なるホームページの充実が求められるだろう。

(13-1) ホームページを見たことのある方にお聞きします。

※見たことがあると回答した団体は61団体

1. ホームページのデザイン

見やすい	18団体(29.5%)
普通	41団体(67.2%)
見にくい	1団体(1.6%)
無回答	1団体(1.6%)

＜コメント＞デザインは普通であるという回答が最多で、見にくいと答えたのは1団体だけであった。

2. ホームページの情報量
- | | |
|-----|-------------|
| 多い | 7団体(11.5%) |
| 普通 | 49団体(80.3%) |
| 少ない | 3団体(4.5%) |
| 無回答 | 2団体(3.3%) |

<コメント>この設問についても、普通という回答が最多で、少ないを選んだのは3団体のみだった。

3. ホームページの更新
- | | |
|-----|-------------|
| 多い | 6団体(9.8%) |
| 普通 | 50団体(82.0%) |
| 少ない | 1団体(1.6%) |
| 無回答 | 4団体(6.6%) |

<コメント>更新頻度についても、普通が最多で、少ないを選んだ団体は1つのみだった。

(14) 市民活動センターが実施している業務やサービスについて、知っていることをお答え下さい。

(複数回答可)

- | | |
|---|------|
| 1. 会議室スペース利用 | 70団体 |
| 2. 印刷機の利用サービス | 71団体 |
| 3. ポスター・横断幕プリント | 55団体 |
| 4. イベントカレンダーによる催事案内 | 54団体 |
| 5. ボランティア情報の発信、マッチング | 50団体 |
| 6. 諸団体の紹介コーナー | 57団体 |
| 7. 各種助成金の情報提供 | 46団体 |
| 8. メールマガジンの発行 | 34団体 |
| 9. 市民活動に関する相談業務 | 42団体 |
| 10. 各種講座の開催 | 46団体 |
| 11. 広報紙の発行 | 47団体 |
| 12. イベントによるバザー・活動紹介の場の提供(こむせん市・市民活動フェスタ等) | 38団体 |
| 13. その他 | 3団体 |
- (PC利用、連携会、スクリーンの貸し出し、パソコン相談、パソコン講座など)

(15) 市民活動センターについて、要望がありましたらお書き下さい。

- ・活動センターが平地にあれば利用しやすい。ヘコだめ(現在地)では駐車場から歩かなければならないし無料だって1時間でしよう。もっと広々としたところに移してほしい。
- ・車椅子だと行きにくいです。
- ・会議室が別にあると打合せなどが他の人に関係なく出来ると思いますので作っていただきたい。
- ・殆ど毎日開放しているのと、長時間開放なので、大変助かっております。扉(ドア)戸、のある個別会議室が欲しいです。
- ・カラー印刷機の導入をお願いします。
- ・駐車券を押してもらる時間、要件を緩和して欲しい。Wifiを入れて欲しい。パソコンをもう1台入れて欲しい。貸し出し物資にキャンプ用テントなども入れて欲しい。
- ・コピーなど利用する場合に何度も氏名などを書かなければならないのでもう少し簡略化していただけないでしょうか？パソコン・印刷機・駐車券など利用する場合、何度も書いたことがあります。
- ・市民活動において、中高年以上の高齢の方々は、IT世界からほとんど置きざりにされてしまっている。そういう方々にこそ(この人たちは経済的には結構足りてはいるらしいが)ITの世界の広さ、便利さ、楽しさを伝え広めてほしい。それが市民活動のような気がします。
- ・パソコン関係(フェイスブック、ツイッター、ブログ、ホームページ等)についての初心者向け講座の開催。複数回して頂けると助かります。
- ・年間に4回～5回程度小さなイベントを開いていますが、その時に和太鼓やギターの引き語りなどのイベントを実施しています。これらの紹介を頂けるとありがたい。(費用は少ししか掛けられない)
- ・ボランティア団体が活動を継続できるよう、ボランティアをしたい人をつどり、紹介してくれるサービスをして欲しい。

- ・便利な場所にあるのに、ごちゃごちゃしていて、利用しづらい。
- ・つくば市には会場使用料を減額免除する施設がないので、つくば市民・近隣住民も利用を可能とする施設であってほしいと思います。
- ・つくば市内という枠組みを越えた連携等
- ・現事業がおちついた時は、連携を要する必要性があれば活用したいです。
- ・活動展開が既存の形から進展しないため、活動センターの機能を充分活用できず、残念です。異分野とのコラボから新しい芽が生まれることもきたいしたりします。情報発進を今後ともよろしくおねがいします！
- ・NPO 法人として行っている活動に対して、これは営利事業なので NG と言われる方がいらっしゃいます。もちろんご理解いただいている方もいらっしゃいますが、そうした状況を共有していただきたくお願い致します。

3. 他団体との連携・協力についてお尋ねします。

(16)事業を行う際に、連携・協力している他団体はありますか。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ある | 41団体(37.3%) |
| 2. 事業内容によってはある | 41団体(37.3%) |
| 3. ない | 25団体(22.7%) |
| 4. 無回答 | 3団体(2.7%) |

＜コメント＞現状で「事業内容によってはある」も含んだ場合に、連携・協力している団体があると答えた団体は約 75%に上っており、連携・協力の体制がしっかりしていることが分かる。その反面、「ない」と答えた団体も約 20%あることには留意したい。

(17)事業を行う際に、他団体と連携・協力していくことを考えていますか。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 積極的に連携・協力したい | 32団体(29.1%) |
| 2. 事業内容によっては考える | 63団体(57.3%) |
| 3. 考えていない | 12団体(10.9%) |
| 無回答 | 3団体(2.7%) |

＜コメント＞「事業内容によっては考える」という団体が 57.3%であり、「積極的に連携・協力したい」団体と併せると 86.4%になっている。3 割の団体が積極的な協力を考えているが、更なる連携・協力の促進のためにはこうした団体の数を増やしていくような体制の整備が必要かと考えられる。

(17-1)1と2に回答した方にお聞きします。連携・協力する場合の相手として、期待するのはどのような団体ですか。(複数回答可)

※1 または2と回答した団体は95

- | | |
|--------------|------|
| 1. つくば市 | 54団体 |
| 2. 企業 | 39団体 |
| 3. 研究機関 | 29団体 |
| 4. 大学 | 40団体 |
| 5. 幼保小中高校 | 34団体 |
| 6. 地域の地縁団体 | 29団体 |
| 7. 同じ分野の市民団体 | 51団体 |
| 8. 違う分野の市民団体 | 25団体 |
| 9. その他 | 11団体 |

((社)協力隊を育てる会、他県の団体(ボランティア)、学生団体、土浦市・水戸市、文化振興財団)

＜コメント＞連携・協力の相手としては、同じ分野の市民団体が多いのは勿論のことであるが、やはりつくば市を期待する団体が多かった。行政との協働は、近年、自治体行政側でも言及されることの多いことなので、今後行政と市民団体の連携・協力を更に推進していくことに、本結果が 1 つの根拠を与えるかもしれない。

(17-2) 他団体と連携・協力する際に、もっとも期待することは何ですか。

- | | |
|------------|------|
| 1. 資金 | 13団体 |
| 2. 物資 | 8団体 |
| 3. 人材 | 40団体 |
| 4. 知識やノウハウ | 37団体 |
| 5. ネットワーク | 51団体 |
| 6. その他 | 5団体 |

(告知と場所の提供 公共施設の利用・市民県民への告知、広報紙への掲載、イベント協力、信頼関係)

＜コメント＞連携・協力の際に他団体に期待する内容は、ネットワークが最多で、次いで人材、知識やノウハウであった。人材不足は運営継続、事業実施の際の課題としてもあげられていたことであるが、他にネットワーク、知識やノウハウなどを相手に求めていることが分かる。

アンケートを通じて、ご意見などがございましたら以下にお書き下さい。

- ・ぜひ他市町村がうらやむような地域にして下さい。
- ・先日は法律問題の講座を開いて頂き、ありがとうございました。今後も他の内容で法律の専門家の話を聞いたり、相談する機会があればぜひ参加したいです。他団体と交流する会や、運営の仕方などの勉強会があっても良いと思います。
- ・当会は武道教育を行っています。地域防犯の為、合気道、空手を利用した護身術体験会を行います。このニーズに関する情報があればお伝えください。
- ・危険度の高い作業(ボランティア活動)に対応できる保険があると、とても助かります。
- ・つくば市内での活動は、ここ数年ほとんどございません。つくば市以外の市民活動との連携をどのようにすすめていかれたいのか興味があります。

